



2015 年度事業報告書 決算書

1 月通常総会資料

事業年度 自 2015 年 1 月 1 日
至 2015 年 12 月 31 日

1966年、地域を想い、地域の未来を拓く青年経済人が集い、長井青年会議所は発足しました。この想いは脈々と受け継がれ、創立50周年を迎えます。私たちは、創始の想いを礎に、移りゆく時代の中で若さあふれる発想を持って地域発展のための運動を展開してまいりました。明るい豊かな社会の実現のため、この想いはこれからも変わることはありません。

次なる50年の第一歩を踏み出すため、ここに、2015年から2019年までの運動指針を策定いたします。

〈2015 - 2019年度〉 公益社団法人 長井青年会議所 運動指針

幸せを実感できるまちづくり

【未来への責任】

これまでの50年、先人たちのたゆまぬ努力により大きな経済成長を遂げ、私たちの暮らしは豊かになりました。今を生きる私たちは、豊かな50年後を築くために、今できることを常に考え、責任ある行動をしていきます。

【幸せの姿】

家族や地域の姿が年々多様化する中、求められる幸せの姿は多様になっています。未来を担う子どもたちもさまざまな想いをもって育ち、教育の場では、その想いを尊重することが必要となります。これからの社会では、一人ひとりの想いから生まれた夢を叶えられるという、心の豊かさが幸せの姿となっていきます。

【心の豊かさ】

夢を叶えるには一人ひとりの成長が必要です。人は人で磨かれるというように、より多くの人と出会い、その人々の想いに触れることで心が豊かになり、成長することができます。また、人の想いを尊重し共感する心は、現実との触れ合いによって身につくものです。多様な想いが行き交う中、実体験を通じて心を豊かにしていくことが求められます。

【幸せの実感】

地方に住む私たちが豊かさを実感するためには、このまちの魅力を再認識していくことが必要です。長井西置賜ならではの特色ある地域資源を明確に再認識して、その魅力を発信し、住みたいと思われる魅力あるまちとなることで、ここに住み暮らす私たちが誇りを持ち、幸せを実感することができます。

【私たちの運動】

私たちは、心豊かで魅力あるまちを創造し、このまちに関わるすべての人々が幸せを実感できることをめざしていきます。そのために、私たちは地域社会を牽引する存在であり続けなければなりません。私たちだからこそできる運動を率先して展開し、幸せを実感できるまちを実現していきます。

2015年度スローガン

公益社団法人 長井青年会議所 2015年度 スローガン

流汗悟道 ～未来を拓く原動力となれ！～

公益社団法人 日本青年会議所 2015年度 スローガン

美しく先駆けよう！

すべては未来を生きる人のために

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区協議会
2015年度 スローガン

夢と希望溢れる輝く東北の実現

公益社団法人 日本青年会議所 東北地区 山形ブロック協議会
2015年度 スローガン

夢と希望に満ち溢れる「やまがた」の実現



所 感

公益社団法人長井青年会議所

第 50 代理事長 板 垣 洋 一

予定者から数えて 1 年と数か月、本当にあっという間の 2015 年度でした。支えて頂いた皆様、関わりを持った全ての方々に感謝申し上げます。不安と 50 周年という節目を迎える組織をお預かりする重圧で押しつぶされそうになりながら目の前の責任に一つ一つ対応していくことに精一杯でしたが、その時々メンバーや先輩方に助けられ何とか自身の職務を全うすることができました。改めて仲間の有り難さ、そして 50 年間にも及ぶ長い歴史を紡いできた先輩諸兄への敬意を深めた日々でした。

「流汗悟道」という基本理念の下にメンバー一丸となってそれぞれの事業に取り組んできました。計画通りに進行できず、壁にぶつかりながらの事業もありましたが、その度に個人個人が知恵と工夫を出し合って協力し、立ちふさがる壁を克服しながら事業を成功に導いたわけですが、その困難それぞれがメンバーを成長させる大きな糧となりました。青年会議所は地域の若い青年達に成長する機会を提供し、よって地域を明るく豊かにする団体であります。創立 50 周年を迎えた記念すべき年に、事業と共に周年式典と祝賀会という成長の糧を経て、私達はそれぞれが明日を背負うリーダーとして飛躍することが出来た事かと感じております。今度はメンバー個々がそれぞれの身の回りにいる人々に対してプラスの影響を与え、その影響を受けた人々が幸福を実感できるような地域社会にしていける様に、それぞれが行動を起こしていってほしいと願っております。

最後に、今改めて一年を振り返り、理事長を務めさせて頂いたことに充実感と喜びを感じておるところでございます。多くの方々の協力と支えを受けて全うできた重責でありました。本当に心からの感謝と有り難さで胸の内側がいっぱいでございます。頂いたご恩を社会に還元していけるよう今後とも精一杯青年会議所運動に取り組んでいく所存でございます。2015 年度の 1 年と数か月を通して、皆様本当に有難うございました。

所 感

副理事長 小 関 幸 一

今年度、副理事長を仰せつかり活動させて頂きましたこと誠にありがとうございます。

板垣理事長、担当させて頂きましたひとづくり委員会の小笠原委員長、川合副委員長、中川幹事、委員会メンバー、また、フォロアメンバーの皆様、貴重な経験、学び、気づきを得て、共に汗を流すことが出来ました。私自身、あっという間に時間が流れた、そんな感覚の一年間でした。特に、初めての副理事長職ということもあり、自分に務まるのかどうかと不安と緊張が続きましたが、予定者段階から数えると約 1 年 4 カ月に渡り小笠原委員長が中心となり、委員会を重ね、委員会メンバー一丸となり準備を行い、滞りなく全ての担当させて頂いた事業を開催させて頂きました。

50 周年の節目の年に、ひとづくり委員会として関わらせて頂きましたまちづくり活動によって、JC 活動を関係諸団体のみならず地域の方に広く周知できたと思います。この経験を次年度の活動の糧とし、より一層の精進を重ね、本年、ご縁を頂きました皆さん方に感謝申し上げます。一年間、本

当にありがとうございました。

所 感

副理事長 佐藤真光

今年度、ゆめあかり委員会の担当副理事長という担いをさせていただきました。ただ、年度途中より私の力不足の為、多くの方々にご迷惑とご苦勞をお掛けしましたことをお詫び申し上げます。副理事長という担いの中で、大きな責任を中々全うできずに2015年度を過ごしてしまい、委員会の先頭に立って悪戦苦闘している玉橋委員長や委員会メンバーには大変なご負担をお掛けしてしまい申し訳ない限りです。そのような状況で委員会の垣根を越えて「夢灯」事業に携わっていただき、支えていただいた板垣理事長、理事役員の皆様、多くのメンバーの方々に只々感謝申し上げます。

今年度掲げた一市三町で行う「夢灯」。西置賜を活動エリアとする当青年会議所において、一市三町での事業展開が出来たことは画期的であり、これからの長井JCの活動の可能性を一段と掘り下げた形で次年度以降にも引き継げるものかと考えております。ただ、事業規模が大きくなることで、協力体制を含む人力的負担や予算構築等の難しさは否めない状況です。この「夢灯」事業の目的を果たすため、その年その年臨機応変に新しい展開を模索したり、見合った形での基本構想を打ち出したりと様々手法があるかと思えます。柔軟な発想のもと素晴らしい展開が今後とも成され、地域の方々がそれぞれに明るい未来ビジョンを思い描けられるような事業になることを切に願う次第です。

最後に大きな重圧を胸中に抱えながら、この「夢灯」事業を推し進め、成功裡に事業を成し遂げた玉橋委員長をはじめ委員会メンバーの方々に感謝申し上げます。一つ一つの準備に苦慮し、多くの関係団体との連携を上手く保ち、様々なところに足を運び、多くの工夫と智恵を出し合い、この大事業を構築していくことは並大抵な事ではなかったと誰もが感じるところです。不甲斐ない担当副理事長ではありましたが、一担い手として皆さんと一緒に活動させていただいたことに深く感謝申し上げ、私の所感とさせていただきます。本当にありがとうございました。

所 感

副理事長 梅津壮一郎

今年度、まちづくり委員会担当副理事長として様々な事業に携わる事ができ、とても有意義な1年間を過ごさせて頂きました。齋藤圭央委員長を中心に、まちづくり委員会メンバーそれぞれが役割を全ういただき、共に事業を展開できた事を本当に感謝しております。

当委員会では、50周年記念事業「地域防災フェスタ」、地域防災セミナー、ながい OMOIYARI プロジェクトを担当させて頂きました。全体を通して感じたことは、例年以上に多くの外部団体と連携・協力しながら事業を構築できたのではないかと感じます。まず、防災フェスタでは、福祉まつりとの共催ということで、準備段階から実行委員会に参加し、アドバイス等頂ながら事業を実施できました。防災セミナーでは、今まで色々協力いただいていた長井市社協さんだけでなく、3町の社協さんと行政防災担当者にも参加いただく事ができました。また、OMOIYARI プロジェクトでは、市内の各銀行への声かけやロータリーさんの参加協力もあり、多くの参加者とともに事業実施できた事は本当に良かったと感じます。このような新たに築いた関係は、長井JCにとって新たな財産になると思います。今後も長

井 JC 単体で事業をするのではなく、外部団体や地域住民を巻き込んだ事業を構築していき、まちづくりの輪をさらに大きく太くし、長井西置賜をもっと盛り上げて行きたいと感じました。

この1年間を通して、多くの気付きと学びを得ることができました。この経験を自分自身の成長に繋げ、今よりもさらに魅力と活力に満ちた経済人となり、地域貢献を通して「明るく豊かな社会」の実現に向けた努力を続けていきたいと思えます。最後に、各事業に対してご協力いただきました関係者、長井 JC メンバーの皆様に、心から感謝申し上げ所感とさせていただきます。本当にありがとうございました。

所 感

専務理事 樋口和哉

今年度、専務理事職をお与りさせていただき長井青年会議所の運営を担う事務方として、皆様と共にとても貴重で濃密な時間を過ごさせていただいたと感じます。専務理事という役職を振り返りますと、板垣理事長を一番に御支えする役目として地域内外へ御供させていただいたことが多く、行く先々での出会いはもちろんのこと、多くの気付きや学びを得ることが出来ました。また、組織運営を司る統括的な役目でしたが、自分の未熟さ故に皆様にご迷惑をお掛けする部分が多々あり、同じ事務方として齋藤事務局長を筆頭に事務局メンバーに御支えいただき職務を全うすることが出来たと感じております。今年度の運営において至らなかった点はしっかりと次年度に引き継ぎ、組織として JAYCEE として今後の活動にしっかりと活かしていきたいと思えます。

創立 50 周年という節目の年に板垣理事長が掲げた「流汗悟道」という基本理念の下、「明るい豊かな社会の実現」のために皆様と共に一年間運動を展開出来ましたことに心からの感謝を申し上げます。ありがとうございました。

所 感

未来創造会議 議長 齋藤 繁 喜

今年度は、直前理事長という立場でありながら未来創造会議議長の担いを与えていただきました事に心より感謝と御礼を申し上げます。

青年会議所運動の原点である会員拡大は、永遠の課題ではありますが、今年度は拡大戦士育成塾をはじめ、入会パンフレットをはじめとする拡大ツールの作成など会員拡大に取り組むにあたり必要な準備や拡大の意義などを発信してまいりました。会員拡大の結果としては、目標の 10 名拡大を達成することができませんでしたが、年間を通してメンバーの皆様お一人おひとりが拡大担当として行動していただき、今後の会員拡大へと繋がる沢山の種まきをして頂いた事に感謝を申し上げます。次年度以降、必ずや実ると確信しております。

また、(株)佳論の辰巳明弘先生をお招きし、人材育成セミナーとして「スイッチ・オン!セミナー」の開催をはじめ、長井 JC アカデミー、異業種交流会、運動指針の策定、つながりから始まるまちづくりと会員の資質向上へと繋がる事業を担当させていただきました。

これらの事業を展開する中で、これから会員候補者となるであろう地域の青年の方との出逢いもあり、つながりを感じることができた一年間であったと思えます。

メンバーの皆様からのご協力を頂き、一年間活動できました事に心より感謝を申し上げ、私の所感とさ

せて頂きます。ありがとうございました。

所 感

創立 50 周年実行委員会 実行委員長 齋 藤 繁 喜

2015年度は、創立50周年の節目の年を迎えさせて頂きました。多くの先輩諸兄の皆様が熱き思いのもと創立された、長井青年会議所の創始の精神と、代々受け継がれてこられた高い志を胸に刻み、先輩諸兄が築き上げてこられた礎の上に立たせて頂いているという事を認識し、感謝の心で全メンバーが一丸となって創立50周年記念式典、記念祝賀会を開催致しました。これまでご支援ご協力を頂いております行政をはじめ関係諸団体、各地青年会議所の同志の皆様、そして、先輩諸兄に多数ご出席頂き、皆様に見守られる中で盛大に開催する事が出来ました。創立50周年実行委員会の式典部会、祝賀会部会、総務部会と各部会長を筆頭にメンバー一人ひとりが役割を担い、感謝とおもてなしの心を持って設えることができたと感じております。また、2020年ビジョンに向けて新たな運動指針「幸せを実感できるまちづくり」を策定し、創立50周年記念誌へ掲載をさせていただき、今後の長井青年会議所の活動へ多くの激励やご期待のお言葉を頂戴いたしました。

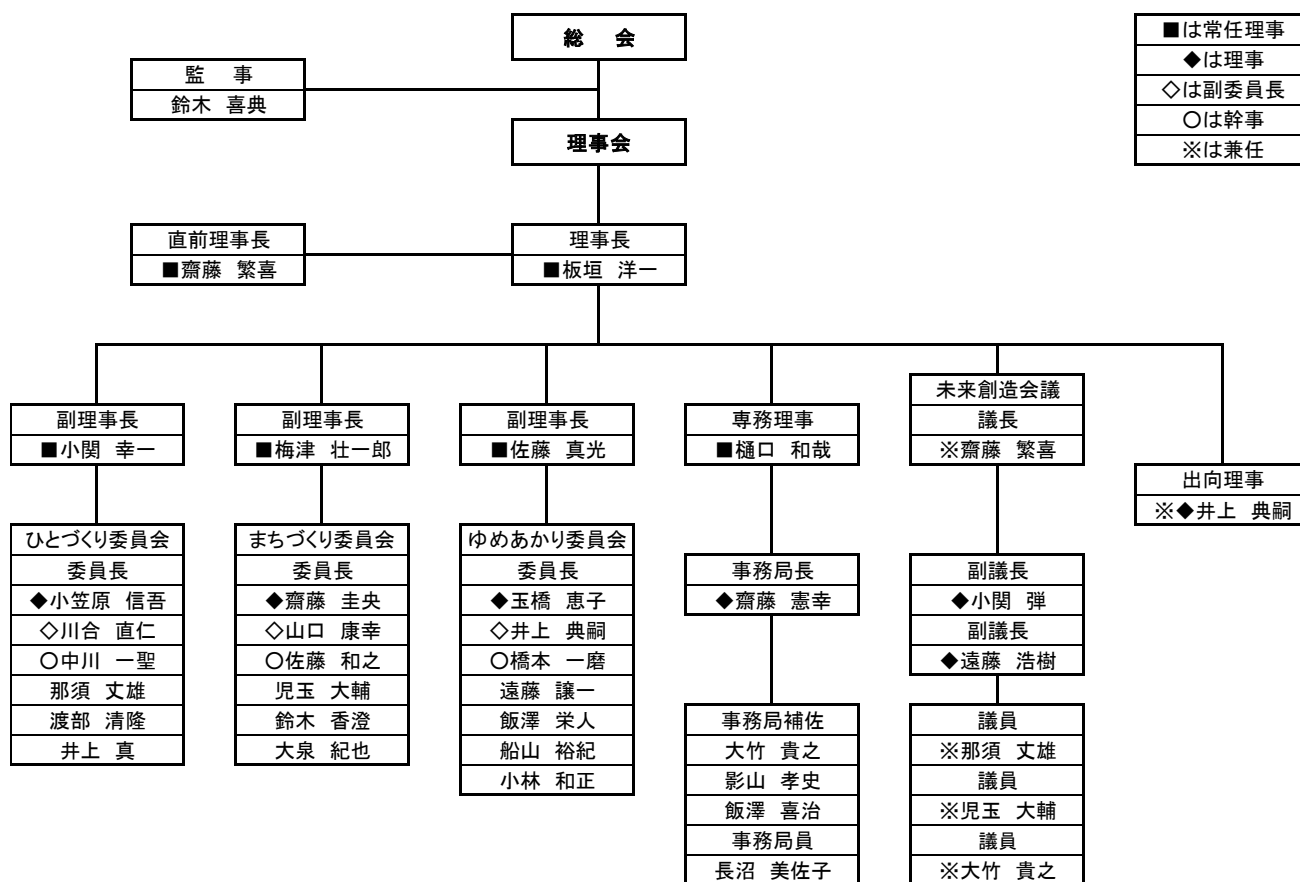
この一年間を通して様々な面でお支え頂きました先輩諸兄、関係各位の皆様にご心より感謝と御礼を申し上げます。メンバー一人ひとりが50周年を通して得た多くの学びや気づきをこの地域で活かす事、そして若いメンバーに伝えていく事で、さらに魅力ある長井青年会議所に発展すると確信しております。皆様のご協力ありがとうございました。

【2015年度 年間行事報告】

期 日	内 容	場 所	
1月8日	第1回理事役員会議	JCルーム	第1回理事会
1月15日	新春賀詞交歓会	はぎ苑	事務局事業
1月22日～24日	公益社団法人日本青年会議所 京都会議	京都市	京都会議
1月24日	日本青年会議所 総会	京都市	
1月27日	1月通常総会	タスパークホテル	1月例会(事務局)
1月31日	山形ブロック協議会 第1回会員会議所会議 &アカデミー開講式&新春交歓会	酒田市	
2月5日	第2回理事役員会議	商工会議所 会議室	第2回理事会
2月7日	ながい雪灯り回廊まつり	長井市	
2月9日	山形ブロック協議会会長公式訪問例会	米沢市 東京第一ホテル米沢	2月例会(事務局)
2月28日	山形ブロック協議会 第2回会員会議所会議	東根市	
3月4日	第3回理事役員会議	商工会議所 会議室	第3回理事会
3月19日	地域防災交流会	市民文化会館 大会議室	3月例会(まちづくり委員会)
3月22日	日本青年会議所 総会	横浜市	
3月28日	山形ブロック協議会 第3回会員会議所会議	山形市	
4月2日	第4回理事役員会議	商工会議所 会議室	第4回理事会
4月24日	人材育成セミナー	タスパークホテル	4月例会(未来創造会議)
4月25日	山形ブロック協議会 第4回会員会議所会議	鶴岡市	
5月2日、3日	第24回JIC杯中学野球大会(春季)	長井市北中、南中、飯豊中	ひとつづくり委員会事業
5月7日	第5回理事役員会議	JCルーム	第5回理事会
5月21日	長井駅周辺整備事業	長井駅	5月例会(ゆめあかり委員会)
5月23日	ながい黒獅子まつり	つつじ公園	
5月30日	山形ブロック協議会 第5回会員会議所会議	はぎ苑	
6月4日	第6回理事役員会議	JCルーム	第6回理事会
6月13日	みんなで灯そう夢灯り 長井会場	あやめ公園	ゆめあかり委員会事業
6月21日	ながいOMOIYARIプロジェクト	最上川河川緑地公園	まちづくり委員会事業
6月21日	みんなで灯そう夢灯り 飯豊会場	飯豊町 飯豊町町民総合センターあ～す	ゆめあかり委員会事業
6月27日	山形ブロック協議会 第6回会員会議所会議	村山市	
6月28日	ブロック大会むらやま大会	村山市 東沢バラ公園	6月例会(事務局)
7月2日	第7回理事役員会議	JCルーム	第7回理事会
7月12日	創立50周年記念式典・祝賀会	市民文化会館、はぎ苑	7月例会(創立50周年実行委員会)
7月18日、19日	日本青年会議所 サマーコンファレンス	横浜市	サマーコンファレンス
8月1日	ながい水まつり	最上川河川緑地公園	
8月6日	第8回理事役員会議	JCルーム	第8回理事会
8月8日	みんなで灯そう夢灯り 小国会場	小国町 小国中学校	ゆめあかり委員会事業
8月11日	ながい寺子屋	白鷹町 パレス松風	ひとつづくり委員会事業
8月20日	8月通常総会	グランバリスパーティリゾート	8月例会(事務局)
8月20日	納涼パーティー	グランバリスパーティリゾート	ひとつづくり委員会事業
9月3日	第9回理事役員会議	JCルーム	第9回理事会
9月5日	みんなで灯そう夢灯り 飯豊会場	飯豊町 飯豊町町民総合センターあ～す	ゆめあかり委員会事業
9月5日、6日	東北地区協議会 東北青年フォーラム	福島県二本松市	会員大会
9月17日	次年度理事長候補者所信発表例会	市民文化会館 大会議室	9月例会(事務局)
9月17日	JCアカデミー	市民文化会館 大会議室	未来創造会議事業
9月19日	創立50周年記念事業防災フェスタ	生涯学習プラザ	まちづくり委員会事業
9月20日	山形ブロック協議会 第7回会員会議所会議	山辺町	
9月22日	長井1000人芋煮会	長井市	

9月22日	ぼくらの文楽	長井市	
9月24日～27日	日本青年会議所 全国大会八戸東北大会	青森県八戸市	会員大会
9月26日	日本青年会議所 総会	青森県八戸市	
10月1日	第10回理事役員会議	JCルーム	第10回理事会
10月3日	JC杯中学野球大会(秋季)	長井市 南中、飯豊中	ひとづくり委員会事業
10月9日	山形青年会議所 創立60周年記念式典・祝賀会	山形市 メトロポリタン山形	祝事
10月16日	置賜4JC合同例会	米沢市 米沢ボウリングレーン	10月例会(事務局)
10月19日	天童青年会議所 創立45周年記念式典・祝賀会	天童市 天童ホテル	祝事
10月24日	山形ブロック協議会 第8回会員会議所会議 &アカデミー閉校式	高畠町	
10月25日	フラワー長井線まつり	長井駅	
11月2日	第11回理事役員会議	JCルーム	第11回理事会
11月3日～8日	JCI世界会議	金沢市	世界会議
11月3日	みんなで灯そう夢灯り 白鷹会場	白鷹町 文化交流センターあゆ〜む	ゆめあかり委員会事業
11月19日	青少年講演会	生涯学習プラザ	11月例会(ひとづくり委員会)
11月28日	山形ブロック協議会 第9回会員会議所会議&卒業式	酒田市 酒田玉姫殿	
12月3日	第12回理事役員会議	JCルーム	第12回理事会
12月12日	クリスマスパーティー	飯豊町 農家レストランエルベ	まちづくり委員会事業
12月18日	卒業式	タスパークホテル	12月例会(事務局)

公益社団法人 長井青年会議所 2015年度組織図



2015年度 出向者			
日本青年会議所 渉外委員会 委員	遠藤 浩樹	東北地区協議会 ゼミナール委員会委員	佐藤 真光
山形ブロック協議会 拡大実践会議 議長	鈴木 喜典	山形ブロック協議会 組織進化実践会議 副議長	井上 典嗣
山形ブロック協議会 拡大実践会議 運営幹事	齋藤 憲幸	山形ブロック協議会 拡大実践会議 議員	小関 弾
山形ブロック協議会 組織進化実践会議 総括幹事	梅津 壮一郎	山形ブロック協議会 組織進化実践会議 議員	那須 文雄
山形ブロック協議会 やまがた協働運動実践委員会 委員	児玉 大輔	山形ブロック協議会 コミュニケーションデザイン確立委員会 委員	影山 孝史
山形ブロック協議会 地域の未来創造委員会 委員	小笠原 信吾	山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会 委員	小関 幸一
山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会 委員	船山 裕紀	山形ブロック協議会 事務局 事務局補佐	山口 康幸
山形ブロック協議会 アカデミー委員会 委員	飯澤 喜治	山形ブロック協議会 アカデミー委員会 委員	川合 直仁

※2016年1月12日時点

【会員動向】

卒業者 2名	児玉 大輔、 小関 弾
入会者 2名	大泉 紀也、 小林 和正
休会者 0名	
退会者 2名	鈴木 亜由美、 佐藤 真光

未来創造会議 事業報告書

●議長 齋藤 繁喜 ●副議長 遠藤 浩樹
●議員 児玉 大輔 ●議員 那須 丈雄

●副議長 小関 弾
●議員 大竹 貴之

議長所感

まずは、メンバーの皆様より未来創造会議へのご協力を賜り誠にありがとうございました。心より感謝と御礼を申し上げます。私たち未来創造会議が担当する事業は、会員拡大をはじめ、皆様からのお力添えがあってこそ目的を達成することができる事業でございました。会員拡大については、地域の未来を担う貴重な人材に巡り合えたことに感謝する一方で、人数目標としては結果を残すことができませんでした。しかしながら、今後の拡大へ繋がる各種ツールの作成や会員候補者への種まきが必ずや花開くことと確信しております。会員拡大は、全メンバーが拡大担当であるという意識を持つことが重要です。来年度以降もメンバー一人ひとりがJCの魅力を発信し、一人でも多く会員拡大へと繋げていけるよう一丸となって取り組んで参りましょう。一年間、ありがとうございました。

会員拡大運動

事業名：会員拡大運動
担当委員会名：未来創造会議
議長氏名：齋藤繁喜

1. 事業目的：一人でも多くの会員を増やす事を目的とした。

2. 事業概要：

【会員拡大戦略会議】

会員拡大の進捗状況の確認・情報共有は、年間を通して以下のように取り組みました。

1、理事会での進捗状況の報告（報告事項の際にご報告申し上げました）

2、例会での進捗状況の報告（報告事項の際にご報告申し上げました）

【拡大戦士育成塾】 ※理事会開始前 18:00～18:50（50分間）

拡大は、理事メンバーが本気にならないと始まらな

い！！

理事メンバーの拡大に対する意識改革をするべく全3回の拡大戦士育成塾を開催しました。

2月理事会前 第1回 拡大戦士育成塾（拡大の意識を向上させるセミナーを開催しました）

3月理事会前 第2回 拡大戦士育成塾（拡大マングラシートの作成しました）

4月理事会前 第3回 拡大戦士育成塾（拡大ロールプレイングを行いました）

【異業種交流会】

4月15日（人材育成セミナー後の懇親会の場で開催しました）

10月21日（つながりから生まれるまちづくり事業の後の懇親会の場で開催しました）

3. 実施日時：通年

4. 実施場所・会場：拡大戦士育成塾（2月・3月・4月）商工会議所研修室、異業種交流会（4月）タス（10月）末広倶楽部

5. 事業対象者：長井青年会議所メンバーおよび入会候補者

6. 参加者員数：19名（担当委員会6名、その他メンバー25名、新入会員候補者3名）

7. 決算総額：21,000円

8. 引き継ぎ事項：

・拡大は、全メンバーが“継続可能な”仕組みを作る必要がある。

・各委員会メンバーの皆様と新入会員候補者についての情報交換が出来る場を設けて、委員会単位で情報収集と拡大アクションプランの作成・行動ができるような流れも検討してください。

・事業数が多いので、各例会や事業に合わせた形で拡大についての事業開催ができればメンバーの負担も軽減できるのでは。

・日中の拡大運動（候補者へのアプローチ）が上手く回れていないので、スケジュール一覧を作成し、担当割りするなどして“行動”できるようにする必要があります。まずは、“行動”が必要です。

・JCの事業や例会に気軽にオブザーブ参加頂けるような環境を整え、毎月候補者をお招きしてみる事も検討ください。

9. 各担当者所見：

◆副議長

会員拡大にご協力いただいたみなさま、ありがとうございました。これからも、一人でも多くの青年にJC運動を広げていただきたいと思います。初めからJC運動を理解するというような人はほとんどおらず、まずは知人を通じて知り合いを増やし、そこから理解者を広げることが大切です。その上でメンバー候補者として自発的に入会を考えていただけるようになれば最良と思います。そのためには、メンバー自らがJC運動について前向きな気持ちをもって生き生きと活動していただくことが大事だと思います。まずは自分から、魅力的な人間になってみようではありませんか。

◆副議長

今年度も未来創造会議で会員拡大に携わることができ感謝しています。今年度は、様々なツールやセミナーを通しての拡大の活動になりました。私自身勉強になりました。しかし、アクションの部分が足りなかった気がします。実際に長井JCメンバー1人1人がやる気を出し、行動しないといけないと思いました。結果はまずは数か月かもしれませんが、一度に多くのメンバーを勧誘してやめしてしまうよりは、着実にメンバーをふやすべきかと思えます。しかし、数年で多くのメンバーが卒業しますので、メンバーの入会がないと、20名足らずのLOMになります。そのことを踏まえつつ来年以降の会員拡大につなげてほしいと思います。私も、来年1年ありますので、一人いれないと卒業しないつもりで頑張ります。弾さん、繁喜さん1年間お疲れ様でした。

◆議長

今年度の会員拡大では、拡大に関わる各種ツールの作成、

拡大戦士育成塾の開催など会員拡大を行う上での基礎部分を主に手掛けるところからスタートし、一年間活動を行って参りました。目標の10名入会へは遠い残念な拡大の結果となってしまいました事、担当の議長として非常に情けない気持ちと悔しさで一杯ではありますが、できない理由は言わず、どうやったらできるかを常に考え、今後も拡大運動に努めて参りたいと思います。拡大に終わりはありません。ここ数年で多くの卒業生を輩出することを考えますと、長井JCの新たな力となる仲間を一人でも多く入会に繋げるために努力することを心からお誓い申し上げ、私の所見とさせていただきます。皆様のご協力本当にありがとうございました。感謝。

人材育成事業

事業名：人材育成事業

担当委員会名：未来創造会議

議長氏名：齋藤繁喜

1. 事業目的：地域のリーダーとなるべき意識付けと資質を身に付けていく機会を設け、明るい未来創造のためのまちづくり運動の担い手を一人でも多く育成する。
2. 事業概要：会員および地域の青年を主な対象として、意識向上・資質向上につながる人材育成セミナーを開催した。
3. 実施日時：4月15日（水）午後2時～5時
4. 実施場所・会場：タスパークホテル 3階アイリス
5. 事業対象者：長井JC会員および主に地域の青年
6. 参加員数：43名（長井JC会員16名、講師：1名、地域の青年等26名）
7. 決算総額：328,042円
8. 引き継ぎ事項：
 - ・予算の設定をより厳しく見積もっていくべきと考える。
 - ・講師の知名度にもよるが、単発でセミナーを開催するにあたっては、過大な参加人数を見積もらないようにしたい。

9. 各担当者所見：

◆担当副議長

本セミナーの開催にあたり、広報でご協力いただいたみなさま、参加いただいたみなさま、運営にご協力いただいたみなさま、そして講師の辰巳先生に心から感謝申し上げます。ありがとうございました。セミナーにご参加いただいたみなさまからは、多くの前向きな感想をいただいております。主催としては目的を達せられたことをとてもうれしく思っております。これからも地域のために、私たちにしかできない魅力的な事業を展開していきたいと思っておりますので、継続的にみなさまのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

◆議長

セミナー開催までの準備から当日の運営まで、多くの皆様のお力添えを賜り誠にありがとうございました。心より感謝と御礼を申し上げます。「参加して本当に良かった！」と参加者の皆様からの嬉しいお声を多数頂戴し、とても嬉しく思っております。アンケートの結果をみましても参加者の心に響き、非常にインパクトのあった事業であったと感じております。今後も地域の未来を創造するリーダーとしての意識付けと資質を向上することを目的とした事業を今後も継続する必要があると強く感じた次第でございます。皆様のますますの人間繁盛、そして人生繁盛を心よりご祈念申し上げ所見とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

長井 JC アカデミー

事業名：長井 JC アカデミー

担当委員会名：未来創造会議

議長氏名：齋藤繁喜

1. 事業目的：新入会員・現役メンバーが JC について考え、再確認して、一人前の JAYCEE の育成を行いました
2. 事業概要：公益社団法人日本青年会議所の公認プログラムの「JC ゲーム」を用い、JC 活動を疑似体験しました。内容としては人生ゲームの JC 版で、JC に入会してから理事長になるまでのシミュレーションゲームを通して、自己を知り他人を知り、そして

目標達成のために計画し、行動し、評価の方法を学びました。ゲームを楽しみながら JC の良さなどを学びました。また自分の JC ライフを振り返りながら人間力の向上を図りました。

3. 実施日時：9月17日（木）17時30分～20時25分
4. 実施場所・会場：長井市民文化会館 会議室
5. 事業対象者：長井 JC メンバー
6. 参加者参加者員数：20名（担当委員会4名、その他メンバー16名）

7. 決算総額：なし

バーの参加者が少なかった、声かけをするべきだと思います。単独での開催、開催する時期を検討するべきかと思っております。

9. 各担当者所見：

◆担当副議長

まず、参加された方お疲れ様でした。昨年度から温めていたものがようやく実現することができました。講師の佐藤久美子氏とは電話、メールでのやり取りで当日まで準備をして参りました。当日の運営では、佐藤久美子氏にお任せとなりました。1回目より2回目はルールを熟知したのでスムーズに行えました。私のグループではありませんが見事理事長も誕生出来ました。私は委員長止まりでしたので自分の JC ライフを表しているようでした。

このゲームの本質は、機会(チャンス)、仲間の大切さ、協力、JC を見つめなおすことであると思います。振り返ってみると、自分もチャンスを生かし切っていないと思いました。来年で、ラストの年ですので今回、感じたことを活かして、残りの JC ライフを過ごしたいと思いません。

◆議長

所信発表例会の前段で私ども会議体の事業のお時間を頂戴しまして誠にありがとうございました。また、多くのメンバーの皆様よりご参加を頂き重ねて感謝申し上げます。

今回開催しました日本青年会議所の研修プログラムの一つである JC ゲームでは、普段とはまた違ったメンバ

一間の交流が生まれ、多くの学びと気づきを得られた様子が感じ取れました。メンバーの皆様が楽しみながら理事長になるまでの課程を疑似体験し、“チームであること”や“チャンスの活かし方”をこのゲームの中で体感できた事がとても良かったと感じておりますし、ぜひ今後のJC活動に大いにいかして頂きたいと思っております。皆様のご協力誠にありがとうございました。

最後に、毎年9月例会は出席者がとても少ないので、次年度以降は所信発表例会一本に集中させ、例会への出席率を高めるための工夫が必要と感じたところでございます。

運動指針策定

事業名：運動指針策定

担当委員会名：未来創造会議

議長氏名：齋藤繁喜

1. 事業目的：運動指針の検証と策定を通して、地域社会の現状に即した運動を展開し、地域活性化の実現を図った。
2. 事業概要：会員全員に共通認識を持っていただく為に今後5年間の運動指針の策定を行った。
3. 実施日時：3月～6月（検証・策定期間）、7月12日（日）（記念誌への掲載）
4. 実施場所・会場：JCルームなど（策定会議）、長井市民文化会館（記念誌の配布）
5. 事業対象者：長井青年会議所メンバー
6. 参加員数：32名（担当委員会：6名、その他メンバー：26名）
7. 決算総額：なし
8. 引き継ぎ事項：

運動指針を策定することについて、メンバーの誰かが事務的に案を作っていくことはよいが、本来は一人ひとりが積極的に策定するものであり、誰かが作ったものをそこそこ微修正していけばよいというものではない。底流にある理念について議論を戦わせ、そこから生まれてくる躍動的な理念こそが運動指針として相応しいものである。つまり、理念に基づいて作成された案を否定するならば、自ら別の理念に基づく案を出すべきである。他

の事業の文案作成と同じような過程にならないよう、気を付けていく必要がある

9. 各担当者所見：

◆担当副議長

策定にあたって、多くのメンバーにご協力いただきありがとうございました。地域のことや未来のことについて話を持ちかけると、全員から真剣に考えた回答が返ってくるという、素晴らしい人財の数々を目の当たりにし、このまちの未来も明るいだろうと期待が持てます。これからの地域の幸せのために、ともに地域のことを考えて行動力を発揮していきたいと思いを強くしました。

◆議長

メンバーの皆様のご協力を賜り、運動指針を策定することができました事に心より感謝と御礼を申し上げます。まちの未来を思い描き、語り、時代に即した運動を展開するための道標について、メンバーの皆様お一人おひとりから沢山の貴重なご意見を頂戴できました事、本当に嬉しく感じた次第でございます。「このまちにJCがあって本当に良かった」と地域の皆様に心から感じて頂ける、そのような地域に求められる団体として、幸せを実感できるまちづくりを展開して参りましょう。結びに、主務としてご尽力頂いた小関副議長をはじめ、長井青年会議所すべてのメンバーの皆様に感謝を申し上げ、私の所見といたします。ありがとうございました。

つながりから始まるまちづくり

事業名：創立50周年特別事業「つながりから始まるまちづくり」

担当委員会名：未来創造会議

議長氏名：齋藤繁喜

1. 事業目的：協力団体等との連携を密にすること、新たなまちづくりの発想を得ること。
2. 事業概要：協力団体等から若干名をお呼びして、各団体の地域における取り組みやまちづくりへの想いをお話しいただいた上で、意見交換をした。
3. 実施日時：10月21日（水）19時～20時
4. 実施場所・会場：末広倶楽部
5. 事業対象者：長井JC会員および会員候補者

6. 参加者員数：16名（担当委員会5名、その他メンバー11名）

7. 決算総額：16,625円

8. 引き継ぎ事項：

・より多くの方々にお話を聞きながら、懇親を深める場を作っていっていただきたい。

・外部の活動者のみならず、JCメンバーにも、JC以外の活動発表をプレゼンしていただくという設定も検討していただきたい。

9. 各担当者所見：

◆担当副議長

ご発表いただいたみなさまには、お忙しい中貴重なお話をいただき、まことにありがとうございました。参加者にとって、新たな視点や発見を得る機会となりました。同じ地域に暮らす青年として、それぞれがそれぞれの場で活躍するとともに、必要な時には協力し合うことで、より大きな運動を起こすことができると信じています。メンバーをはじめとする地域の青年諸君には、様々なつながりを持って協力し合い、様々な人々の意見を聴いて

広い視野を持ち、この地域を大きな志を持って活性化していくように願っております。

◆議長

このまちで共に頑張っている方々のお話をお聞きし、様々な意見交換ができる機会として参加頂いた皆様には“つながり”を感じて頂けたものと思っております。つながりを広め、より強固なものにしていくための一歩となる一日だったと思いますし、会員拡大を進めていくにあたって、まずは自分自身がまちの魅力やJCの魅力を語り、未来を描ける青年となる必要があると感じております。“このまちをこうしたい”、“JCに入会してこうになりたい”とメンバーの皆様一人ひとりがビジョンを明確に持つことが必要であると考えます。今後もこの地域の関係諸団体や市民・住民の皆様とつながりを持つ機会を検討頂ければ幸いです。多くの皆様のご参加を頂き誠にありがとうございました。事業目的：協力団体等との連携を密にすること、新たなまちづくりの発想を得ること。

創立50周年実行委員会 事業報告書

●委員長 齋藤 繁喜

●副委員長 遠藤 浩樹

●部会長 児玉 大輔

●部会長 那須 丈雄

●副委員長 小関 弾

●部会長 大竹 貴之

委員長所感

創立50周年記念式典並びに祝賀会開催までの準備から当日の運営まで、各部長様を筆頭にメンバーの皆様より多大なるご協力を賜りました事に心より感謝と御礼を申し上げます。誠にありがとうございました。50年という節目の年に長井青年会議所メンバーとしてこのような式典・祝賀会を開催できました事に大変光栄であるとともに、これからも地域に必要とされる、頼られる長井青年会議所として未来へ繋ぐ責任をメンバー一人ひとりが再認識する機会でありましたし、ご来賓の皆様をはじめ、OBの諸先輩方、来訪JCの皆様へ決意表明をすることができた創立50周年でありました。革新をし続け、新たな伝統を築いてまいりましょう。皆様のご協力、本当にありがとうございました。

事業名：創立50周年記念式典

担当委員会名：創立50周年実行委員会

委員長氏名：齋藤繁喜

1. 事業目的：これまでお世話になった全ての方々に感謝し、次なる50年に向けて新たな一歩を踏み出す。
2. 事業概要：大きな節目となる創立50周年に相応しく、これまでの長井青年会議所の軌跡を振りかえり、新たなビジョンや方向性を皆様方に発信する場となる記念式典を開催した。
3. 実施日時：7月12日（日） 10時～11時30分
4. 実施場所・会場：長井市民文化会館 大ホール
5. 事業対象者：国、県、行政関係者、日本青年会議所役員、東北地区協議会役員、山形ブロック協議会役員、県内16LOMメンバー、長井JCOB、長井JC

創立50周年記念式典

メンバー

6. 参加員数：231名（長井JC会員27名、来賓26名、JCOB34名、県内LOM会員144名）

7. 決算総額：215,698円

8. 引き継ぎ事項：

司会を中心としてステージアクトのリハーサルを一週間以上前に行い、全体のリハーサルを一週間以内に行うと万全の準備につながると思われるところ、実際にはぎりぎりの準備になってしまうところもあり、思い通りにはならない。その辺りは現場即応のメンバーの力量の見せ所である。

予算面では、概ね予算通りとなったが、当日の突然の出費もあることから、予備費に余裕をもっておくことが功を奏した。

9. 各担当者所見：

◆担当部会長

まず始めに、今年卒業を迎えるわたくしめに、式典部会長と言う大役を与えてくださいました板垣理事長に感謝申し上げます。

ここ数年は人前で活動する機会が少なくなり、当初は不安や戸惑いがありましたが、皆様のご協力により、当日は素晴らしい式典が挙行できたのではないかと感じております。自分自身、10年前の40周年記念式典に携わったメンバーの一人として、当時の事を思い出し、開式から閉式までを自分が思い描いていた通りの流れになったことに関しては、とても満足しております。ただ、私一人で様々な準備等を行ってしまい、次の世代のメンバーに「継承する」という部分が出来なかったのは、私の悪い所であり、唯一の汚点だったと反省しております。

60周年となる10年後には現在のメンバーが何人残っているかわかりませんが、今回の良い点・改善点をしっかりと継承し、今回よりも更に素晴らしい記念式典が挙行されますことを切に望みます。

最後に、この記念式典に携わっていただいた全ての方々に感謝申し上げ、部会長としての所見と致します。本当にありがとうございました。

◆実行委員長

創立50周年記念式典の開催にあたり、メンバーの皆様

より多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。当日は、ご来賓の皆様をはじめ、来訪JCの皆様より素晴らしい式典であったと賞賛のお声を多数頂戴いたしました。式典全体のタイムスケジュールも丁度いい流れであったと感じております。児玉部会長をはじめといたします式典部会の皆様、そして総務広報部会、祝賀会部会と実行委員会全体で連携を密に行い準備を進めてきた結果、素晴らしい式典を開催することが出来たと思います。今後も地域に求められる団体として長井青年会議所メンバー一同、新たな伝統を築き革新を続けていくことをご臨席の皆様にお誓いする場として、新たな歩みを踏み出すに相応しい場であったと私自身も強く感じました。実行委員会としての役割として次の55周年、60周年へとしっかり継承して参ります事をお約束申し上げ、私の所見といたします。誠にありがとうございました。

創立50周年記念祝賀会

事業名：創立50周年記念祝賀会

担当委員会名：創立50周年実行委員会

委員長氏名：齋藤繁喜

1. 事業目的：これまでお世話になった方々をおもてなしの心で迎え、感謝の気持ちをお伝えするとともに、これからの新たな一步を踏み出す契機としました。
2. 事業概要：大きな節目となる創立50周年に相応しく、長井青年会議所として感謝の気持ちを参加者全員にお伝えできる祝賀会を開催いたしました。
3. 実施日時：7月12日（日） 12時30分～14時30分
4. 実施場所・会場：はぎ苑 SORA ホール
5. 事業対象者：国、県、行政関係者、日本青年会議所役員、東北地区協議会役員、山形ブロック協議会役員、県内16LOMメンバー、長井JCOB、長井JCメンバー
6. 参加員数：205名（長井JC会員25名、来賓20名、JCOB31名、県内LOM会員129名）
7. 決算総額：なし
8. 引き継ぎ事項：

アトラクションやおもてなしの内容について、周年事業のコンセプトを明確にして準備していくことが必要です。プログラムの順序について、内容を吟味して最適なプログラムを計画していく必要があります。プログラムの間延びに対しては臨機応変に対応し、料理を最後まで順序良く出したり早めに出したりしていくような配慮を会場側と随時対応していくことが必要です。

9. 各担当者所見：

◆担当部会長

はじめに、創立 50 周年記念式にご協力頂きました皆様様に感謝の気持ちと、御礼を申し上げます。誠に有難うございました。また、公益社団法人長井青年会議所創立 50 周年という節目の大変貴重な機会を、私に祝賀会部会、部会長という大役を任せて下さいました板垣理事長に感謝申し上げます。有難うございました。

当日は勿論のことですが、様々な事業、準備、催し物が連日続く最中、皆様からは心温まるご協力を頂きました。そして、やりつくすことが出来たのではないかと感じているところで御座います。幾度もヘコタレル時がございました、その度に皆様から励まされたり、打開案を考えて頂いたり、時には皆様の多事業への取組む姿勢が私にやる気を与えてくださいました。皆様の一生懸命な姿、行動のおかげを持ちまして非常に良い結果に結びついた、今年のスローガン「流汗悟道」に恥じない取組みが出来たと考えております。

しかし、反省点も残ってしまうものでありまして、祝賀会部会の皆様には作業分担、部会開催といった大切な成長の場を思うように計画できなかつた、1 番大切な部分を疎かにしてしまったと反省している所存で御座います。

私は、次年度(2016 年)に卒業予定となっております。この度の貴重な体験、反省点を踏まえまして、残り 1 年間皆様と一生懸命努力していくこと、55 周年目には更なる飛躍を目指せる長井 JC を目標に取組むことを誓いまして、簡単ではございますが担当者所見と代えさせていただきます。

◆実行委員長

「おもてなし」「感謝」とテーマとして開催しました創立

50 周年記念祝賀会は、結果としてご来賓の皆様をはじめ、多くの方々よりお褒めのお言葉を頂戴できた内容でありました。準備段階から当日の運営まで大竹祝賀会部会長をはじめといたしますすべてのメンバーの皆様にご心より感謝と御礼を申し上げます。料理についても大変満足だったと多くのお声がありましたし、多くのメンバーのご協力のもと形にすることができた地域紹介ムービーについても長井 JC らしさをご参会の皆様のご心に響いたと感じられます。終了時間を少々早めた部分もありましたので、タイムスケジュールは念入りに調整が必要かと感じます。ご協力ありがとうございました。

創立 50 周年記念祝賀会

事業名：創立 50 周年総務広報・記念誌発行

担当委員会名：創立 50 周年実行委員会

委員長氏名：齋藤繁喜

1. 事業目的：創立 50 周年式典および祝賀会の案内や記念誌作成などを通じて、おもてなしの心を持って、気持ちよくご参会いただけるようにしました。

2. 事業概要：

【記念誌発行】

1966 年の創立から 2015 年までの長井青年会議所の事業等の運動の軌跡をわかりやすくまとめた。

歴代の理事長やメンバーの青年会議所運動に対する想いが感じられるような構成にする。

式典参加者に配布して、ここに至る運動の軌跡と受け継がれてきている想いをご理解いただきつつ、感謝の気持ちを受け止めていただいた。

【総務】

当日に至るまで、各部会と連絡調整および準備作業を行いました。

重要な作業の一つに来賓・長井 JCOB および来訪 JC の皆様への案内・対応があるため、案内状の作成、発送、席表・席次の作成をしました。

当日は、ご来訪されるみなさまのご案内や接待を、おもてなしの心を持って行うことで、感謝の気持ちを表していきたいと思いました。

3. 実施日時：7 月 12 日(日) ※式典・祝賀会の日

程

4. 実施場所・会場：長井市民文化会館 大ホール
5. 事業対象者：国、県、行政関係者、日本青年会議所役員、東北地区協議会役員、山形ブロック協議会役員、県内 16LOM メンバー、長井 JCOB、長井 JC メンバー
6. 参加員数：231 名（長井 JC 会員 27 名、来賓 26 名、JCOB34 名、県内 LOM 会員 144 名）
7. 決算総額：244,576 円
8. 引き継ぎ事項：

上記実施上の問題点記載のとおり。記念誌と総務広報は分けた方がいいのではないかという意見がありました。また、ご案内や寄稿文などに関してはなるべく早い段階で行って頂くとスムーズに進むのではないかと思いますし、次回ご検討いただければと思います。

9. 各担当者所見：

◆担当部会長

この度、創立 50 周年総務広報部会・部会長という外部へのご案内や取りまとめを行う部会を仰せつかり、昨年から部会メンバー全員でスケジュールを確認しながら進んでまいりました。45 周年などの資料を参考に進めてまいりましたが、50 周年という節目は更に多くのご来賓や各地の JC 関係者が集うことが予想され、当初から試行錯誤の日々でしたが、実行委員長のもと総務部会が各々の担当を全うできたのではないかと思います。特に記念誌をはじめとした印刷関係では寄稿文の提出遅れや物故会員等の確認など色々な諸問題があったものの、遠藤副議長の的確な指示と取りまとめ等に助けられながら最後

は本当に素晴らしい記念誌等も出来上がったと思います。色々至らない面はありましたが、この大きな節目の年に部会長として活動させていただきましたことを心から光栄に思うとともに、改めて支えていただきました遠藤副議長様、小関副部会長様はじめとする部会メンバー、そして長井 JC メンバーの皆様の温かいお心遣いのご協力に深く感謝申し上げます。これからまた新しい道を進んでいく中で、この 50 周年で学ばせて頂きましたことは大きな糧となりますし、この機会を大きな一歩として、立ち止まることなく未来へ向けてこれからも皆と前進させていただきたいと思います。誠にありがとうございました。

◆実行委員長

総務広報部会は式典部会、祝賀会部会との密な連携を行い、創立 50 周年に関わる中心となる部会でございますが、タイムリーに出席者数の変更・修正などご対応を頂き、それぞれの部会がスムーズに運営できたと感じます。遠藤副実行委員長、那須部会長をはじめといたします総務広報部会のメンバーの皆様にご心より感謝と御礼を申し上げます。また、記念誌の発行に加えて、長井 JC50 年のあゆみとして、アーカイブ DVD の制作を行った事で、あらためて当時の広報誌の在り方などを再認識できる機会にもなり、次の 55 年、60 年の節目へと引き継ぎできる状態にできた事も大変良かったと感じております。40 周年、45 周年から今回の 50 周年で作成をした各種資料データは、次の節目の年に大いに活用できるよう実行委員会として引き継いで参ります。皆様より多大なるご協力を賜り誠にありがとうございました

ひとつづくり委員会 事業報告書

- | | | |
|---------------|-------------|-------------|
| ●担当副理事長 小関 幸一 | ●委員長 小笠原 信吾 | ●副委員長 川合 直仁 |
| ●幹事 中川 一聖 | ●委員 那須 丈雄 | ●委員 渡部 清隆 |
| ●委員 井上 真 | | |

委員長所感

委員長という企画立案担当者兼現場監督として 1 年間汗をかいてまいりました。

委員長は、担当事業に対し、義務と一次的な責任を負う立場にあります。この団体の特徴として、事務局も毎

年変わることからノウハウの蓄積がなされにくく、一から段取りをしていかなければならないというものがあります。そのため、計画段階・いわゆる年度が変わった当初においては戸惑いが生じたことは否めません。そして、担当副理事長をはじめとする理事の方々におかれまして

は、その戸惑いを受け止め、ご助言をいただく・臨時理事会にお付きあいいただくなどしていただきました。この場を借りて感謝申し上げたいと思います。

また、事業を行うにあたっては、委員長一人で全てを行うことはできません。たくさんの方々のご協力がなければ事業は成り立ちません。そして、副委員長をはじめとする委員会メンバーの方々、他のメンバーの方々におかれましては、司会など慣れない役割をこなしていただきました。この場を借りて感謝申し上げたいと思います。総じて、LOMの方々のご支援をいただきながら、委員長としての義務を果たせたことに、重ねて感謝申し上げたいと思います。

第24回JC杯中学野球大会（春季）

事業名：第24回JC杯中学野球大会（春季）

担当委員会名：ひとつくり委員会

委員長氏名：小笠原信吾

1. 事業目的：中学生の自己分析力と課題解決力を高め、また、社会性を身に付けていくことを目的としました。
2. 事業概要：地域の中学校に参加を呼びかけ、学校対抗のトーナメントまたはリーグ戦を行う。
3. 実施日時：5月2日（土）午前8時～午後4時、5月3日（日）午前9時～午後4時
4. 実施場所・会場：白鷹中学校、長井南中学校、飯豊町営球場
5. 事業対象者：長井・西置賜及び南陽市に所在する中学校野球部部員
6. 参加員数：162名（長井JC会員延べ25名、中学生137名）
7. 決算総額：83,000円
8. 引き継ぎ事項：
 - ・球審塁審に対する給水は主催者の役目である。
 - ・今年度は晴天に恵まれた。ただ、雨になったときの対策を過去の事業報告書にあたって想定する必要がある。
 - ・公式審判員と運営責任者への弁当は当方が用意すべき。
 - ・行楽シーズンであり、本職がかき入れ時のメンバーもいるため、メンバーの確保と配置の問題がある。

・飯豊でホームランを連発した生徒がいたため、ボールが足りなくなるおそれがあった。3ダースを超えて準備する必要まではないが、急遽必要となったときにボールを調達する手段は確認しておくべき。

・公式審判員の頭数が確保できないおそれがある。球審を保護者が行い、公式審判員が見守る形は定着しつつあるので、柔軟に対応すべき。

・マイナンバー制が導入された関係で、審判謝礼の源泉徴収を行うために各審判のマイナンバーを教えてもらう必要がある。

9. 各担当者所見：

◆委員長

昨年に引き続き、2日間とも晴天に恵まれたことは幸運であった。

会場選定、公式審判員の確保など、例年とは異なる対応が必要となったものの、関係者ならびにLOMメンバーの協力もあり、無事乗り切ることができたと考える。関係者ならびにLOMメンバーには感謝申し上げる次第である。

なお、上山青年会議所において山形県内の各中学校から選抜したものを対象とする中学野球大会を開催していると聞く。西置賜からも参加している中学校があるようである。しかしながら、甲子園を目指す球児だけが野球少年ではなく、本大会は、西置賜を中心とする置賜地方の大会として地域に根ざしたものとして、なお、その意義を有するものと考えます。

◆担当副理事長

この度の大会は、2日間、晴天に恵まれ開催できたこと、本当に良かったと感じております。また、大会関係者、委員会メンバー、フォロアメンバーの皆様のご協力のお陰で運営面でも、大きな問題なく開催でき、誠にありがとうございます。保護者の皆様も暑い中、応援に沢山の方に参加頂き感謝しております。最後に中学生のハツラツとしたプレーを拝見し、元気と勇気を頂くことが出来ました。GW連休中のお忙しい中、本当にありがとうございました。

第24回JC杯中学野球大会（秋季）

事業名：第24回JC杯中学野球大会（秋季）

担当委員会名：ひとづくり委員会

委員長氏名：小笠原信吾

1. 事業目的：主に中学一年生など経験の少ない生徒において、早期に自己分析力と課題解決力を高め、また、社会性を身に付けていくことを目的としました。
2. 事業概要：地域の中学校に参加を呼びかけ、学校対抗のトーナメントまたはリーグ戦を行う。
3. 実施日時：10月3日土曜日 午前8時30分～午後3時18分
4. 実施場所・会場：長井南中学校、長井北中学校
5. 事業対象者：長井・西置賜に所在する中学校野球部部員
6. 参加員数：95名（長井JC会員11名、中学生76名、教員5名、公式審判員3名）
7. 決算総額：39,000円
8. 引き継ぎ事項：
 - ・試合日程を組む際には、長井南中学校球場以外の試合会場への移動も考慮すべきである。
 - ・中学一年生の参加人数が9名に満たない学校が多いと予想されるため、それを前提として試合日程を組むべき。
 - ・雨の場合の対策は、2013年以前の事業報告書を参照すべき。
 - ・試合と試合の間に行われるべきシートノックを省略し、スムーズな運営を行うことができたので、検討すべき。
9. 各担当者所見：

◆委員長

春季大会に引き続き好天に恵まれ、生徒が負傷することも無く大会を終えることができたことに感謝したい。また、優勝校の飯豊中学校は決勝においてもコールドゲームで勝っており、これは普段から真摯に練習を積んでいる証であることから、その成果を讃えたい。

この長井・西置賜においても生徒数の減少及び野球人口の減少の影響から、一年生部員だけでは単独のチームを組めない中学校が多数を占めることから、今年度より大会名を一年生大会ではなく秋季大会としているものの、全ての参加校が一年生だけでは単独チームを組めない事

態に陥れば、本大会の存続も検討せざるを得ないという考えもあり得るところである。しかしながら、中学校側からは、本大会は中体連新人戦より前に開催されることから、中学三年生が引退した後に中学二年生及び中学一年生から編成される新チーム初の公式戦と位置づけられ、なお有用な大会と評価されているとの意見があった。すなわち、試合経験の少ない生徒に試合経験を与えるという大会の目的に照らせば、中学一年生に限る大会ではなくとも、なお、本大会は地域において必要とされていると感じるところであった。

◆担当副理事長

この大会は、学校・保護者・生徒から、開催を期待されている大会です。今年も、開催できましたこと、本当にうれしく思います。天候にも恵まれ、沢山の方のご協力があり、気持ちの良い環境でプレーできたことと思います。年々、深刻になる少子化に伴い、一年生だけでチーム構成できない学校が多数あり、今後は、学校と調整を図りながら、よりよいJC杯野球大会を実施できればと思います。当日、ご協力頂きましたメンバーの皆様は心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

ながい寺子屋

事業名：ながい寺子屋

担当委員会名：ひとづくり委員会

委員長氏名：小笠原信吾

1. 事業目的：青少年の自己解決力を、青少年達が楽しみながら自然と身につくような方法で養い、ひいては青少年をたくましくしました。
2. 事業概要：
 - 1 長井市内の学童クラブに声かけをして、また一般公募により参加者を募りました。
 - 2 参加クラブの対象生徒を集め、山大模擬裁判サークルの寸劇を見てもらいました。
 - 3 学童クラブごとに、話し合いの機会を与えました。
 - 4 参加クラブの対象生徒を集め、仲直りするための条件を発表してもらいました。

それらを主催者側がとりまとめて講評しました。

5 その他、自然体験も取り入れました。

3. 実施日時：平成 27 年 8 月 11 日（火） 9 時～16 時

4. 実施場所：会場：ふるさと森林公園

5. 事業対象者：学童クラブに所属する小学生及び長井・西置賜に居住する小学生。スポーツ少年団との関係があるため、主に小学 1 年から 3 年生を主な対象と想定している。

6. 参加員数：60 名（長井 JC 会員 16 名，児童 37，大学生 6 名，クラブ指導員 1 名）

7. 決算総額：88,553 円

8. 引き継ぎ事項：

【運営面】

・年々と参加児童数が増えており，児童に接する役割の負担も増えている。施設の利用可能人数及びボランティアスタッフ（教育学部の大学生など）の人数については，単に例年通りとすべきではなく，余裕をもたせた検討を行うべき。

・昨年度参加してくれた児童のうち 10 名を超える人数がリピーターとして参加してくれている。事業内容を工夫し，彼ら彼女らを飽きさせない事業内容を考えるべき。

・来年度も参加を希望する学童クラブもあるので，お声掛けをしてほしい。

・今年度加入した傷害保険は，熱中症についての保証がなかった。屋外の事業を考えると他の保険も考えるべき。

【予算面】

・今年度は身の丈にあった予算組をした。昨年度以前のように，数十万円規模の予算組をする選択肢もありうる。

・子どもゆめ基金などの助成金があると，予算の心配が少なくなる。

・子ども用包丁，木へらなど，調理器具に関しては少々在庫があるため，予算組の際に参考にしていきたい。

9. 各担当者所見：

◆委員長

今年度のながい寺子屋は紆余曲折を経ての開催となり，また，事業当日には多くのご協力をいただく

ことができたことから，まずは，理事の方々及びメンバーの方々その他ご協力いただいた全ての方々に感謝したい。

事業内容について，山形県の各 JC においては初めての試みであった。子どもたちにとっても初めてのことだったと思われる。委員会がねらったところが 100% 実現できたかといえば否定せざるをえないが，アンケートにあるとおり，多数の子どもたちに人を仲直りさせることは簡単ではないと理解してもらったこと及び多数の子どもたちに仲直りさせてあげたいという意識付けができたことは一定の意義があったのではないかと考えられる。

◆担当副理事長

当委員会が一番，時間を費やしてきました事業が開催できましたこと，大変うれしく思います。開催に伴い，多くの参加者に恵まれ，メンバーの多くの支援と協力に関して誠にありがとうございます。小笠原委員長が中心になり，川合副委員長やフォロアメンバーと協力し委員会全体で構築できた事業と実感しております。継続事業として，これまで参加頂きました参加者の方も多く参加いただいた事，初めとの試みとして，学童クラブのウェルキッズさんと協力して行えたこと，今後，ますます地域の方との繋がりや連携が強固なものとなること期待しております。山形大学の模擬裁判サークルの皆様にも短い時間のなかで，リアルな寸劇を見せていただきました。子供たちの印象に強く残っていると思います。自然のなかで，遊び，学び，調理実習なども行えばバランスのとれた事業であったと感じております。本当にありがとうございました。

青少年講演会

事業名：青少年育成講演会

担当委員会名：ひとづくり委員会

委員長氏名：小笠原信吾

1. 事業目的：いじめの問題を早期に発見するためのきっかけを探ることにより，子ども達の健全な発達を妨げるいじめを予防しました。
2. 事業概要：家庭内におけるトラブルや少年が引き起こしたトラブルの案件を取扱い，それらの問題点を

発見し、解決方法を提案することを職務としていた、経験豊富な公務員 OB をお招きした。そして、同公務員 OB の経験等を通じて得られた知見及び現代において注目されている問題、それらの対処方法などをご講演いただいた。

講演のテーマとして、いじめの対象となりやすい発達障害を選択した。そのねらいは、長井・西置賜においては見過ごされやすいために情報を共有してもらうこと、及び、ノーマライゼーション（一般とは異なる特性を持つ者に対し、その特性により発生する不利益を当該個人に負担させるのではなく、その特性により発生する不利益をなるべく解消し、当該個人が健常者等と同様に生活できるよう配慮すべきという考え方）を再確認するという 2 点にあった。

なお、同公務員 OB は、公的機関を対象とする講演をたびたび行うなど、講演実績が豊富である。

講師 山口 恵美子氏（公益社団法人家庭問題情報センター所属）

3. 実施日時：11 月 19 日（木）18 時 30 分～20 時 40 分
4. 実施場所・会場：長井市置賜生涯学習プラザ 舞と音楽のホール
5. 事業対象者：長井・西置賜に居住し、生徒を育てている保護者
6. 参加員数：195 名（長井 JC 会員 23 名、長井市 PTA 連合会 170 名、一般参加者 2 名）
7. 決算総額：88,553 円
8. 引き継ぎ事項：
 - ・市報町報による広告は、無料のものはさほど反応がなかった。市報町報による広告は有料のものも検討すべき。
 - ・白鷹町の小学校の校長から、白鷹町 P T A 連合会と講演会を共催しないかとの打診もあった。
 - ・今年度の講師は講演を生業としない者であったため、予算を低くすることができたものの、毎年そのような講師を選ぶ義務を負うとすれば、講演内容が限定され、事業の存続自体に関わることから妥当ではない。

9. 各担当者所見：

◆委員長

当事業は、最終的には子ども達を対象とする事業ですが、その方法として子ども達ではなく保護者を対象としています。当年度は講演会という手段を選択したため、子ども達を対象とするよりもより高度な内容を扱うことができます。今回お招きした講師による講演の内容は、学者が提唱する学説を出すなど高度なものであったと思いますが、講師の説明の良さも仕方もあり、保護者の方々も咀嚼できるものであったと思います。パワーポイントの頁が進むたび、保護者の方々にお配りしたパワーポイントの用紙をめくる音が館内に響いたことは、保護者の方々が講演に入り込めた証だと思えます。

講演のテーマは、発達障害を切り口としたいじめ予防でした。全国的に注目されているテーマとはいえ、なかなか重いテーマであることから、不安の声もなかったとはいえませんでした。しかしながら、夫婦で協力して子ども達の特徴に応じた育て方をすることがいじめ予防にも発達障害者の育て方にも通じるというその根底に流れる考え方は、普遍的なものであり、説得力があったものだと考えております。

最後に聴講者の方からは、「この講師の話を、子どもを幼稚園に通わせている保護者に聞かせたい」との感想もいただいております。この感想をいただくまで私にはそのような発想がなかったことから、幼稚園・保育園も巻き込むべきだったなというのがただ一つの悔いです。あえてこの欄に書き残していきますので、将来の参考になればと考えます。

◆担当副理事長

この度の講演会にメンバーの皆様、市 PTA 連合会の皆様のご協力のもと開催できましたこと、本当にうれしく思います。多数の参加者の方よりご来場頂き、講師の方からも、平日の仕事後に、このように多くの方に参加頂き、聴講頂けることに、とても驚かれておられました。これは、学校と地域、青年会議所等が連携を組み、成すことができたすばらしい事業であったと思います。

私にも子どもがおりますが、明日から実践できる内容であったと感じております。親として、きちんと時間を

取り、子どもの気持ちに立って、真剣に考え、行動する必要と思いました。アンケート結果よりも、沢山の、いじめの予防に繋がるお話が聞くことができ、そして、行動したいという声を頂き、今回の事業は、目的を達成できたと考えております。

当日、ご協力頂きました市 PTA 連合会の皆さま・役員の皆さま、講師の山口先生、メンバーの皆さまに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございます。

納涼パーティー

事業名：納涼パーティー

担当委員会名：ひとづくり委員会

委員長氏名：小笠原信吾

1. 事業目的：現役会員が先輩方との交流・親睦を深め、地域全体の一体感を育むことを目的としました。
2. 事業概要：長井 JCOB の方々への感謝の気持ちを示すとともに、交流を深める事業。
3. 実施日時：8月20日（木）19時30分～21時30分
4. 実施場所・会場：グランパリスパーティリゾート
5. 事業対象者：長井 JCOB の方々及び長井青年会議所メンバー
6. 参加員数：32名（長井 JC 会員 19名，長井 JCOB 会 13名）
7. 決算総額：なし

まちづくり委員会 事業報告書

●担当副理事長 梅津 壮一郎

●委員長 齋藤 圭央

●副委員長 山口 康幸

●幹事 佐藤 和之

●委員 児玉 大輔

●委員 鈴木 香澄

●委員 大泉 紀也

委員長所感

流汗悟道のもと、仲良く楽しくを基本に汗を流してまいりました。自分が楽しめていたかと振り返ると、楽しむ余裕はなかったと思いますが、皆さんの支えのおかげで何とか終えることが出来ました。様々な思いや考えさせられることはありましたが、1年の経験を自分だけで消化せず、後輩たちに伝えていけるよう、そして何より自分たちが楽しんでま

8. 引き継ぎ事項：

- ・罰ゲームの内容は食べるもの・飲むものにこだわる必要はないように思う。
- ・アトラクションはパターゴルフで良いと思う。
- ・先輩方に話し掛けるため、あえて席次の順序を崩す選択肢もありうると感じた。
- ・挨拶の時間に余裕をもたせても良いと感じた。

9. 各担当者所見：

◆委員長

収支和やかなムードの中で OB の方々と懇親を深めることができたように思い、また、その場を設えることができたことを光榮に思う。次年度の体制を OB の方々にお伝えする場でもあるので、例年と異なることない運営をしたが、そのような形で良かったようにも思う。

◆担当副理事長

OB の皆様、メンバー、多くの参加者に足を運んでいただき、誠にありがとうございます。例年の事業ではありますが、本年は 50 周年の節目ということで、日中にありましたゴルフコンペからの納涼パーティーということで、多数の参加いただきましたことうれしく思います。朝から夜まで、OB の皆さんと現役メンバーが交流を深め懇親を深められたことは、大変、楽しく、お互いに良い刺激になったことと感じております。本当にありがとうございます。

ちづくりや青年会議所の事業に取り組める

よう活かしていければと思います。

不出来な委員長ではありましたが、委員会を代表し全メンバーの支えと協力で感謝申し上げます。

1年間ありがとうございました。

地域防災交流会

事業名：地域防災交流会～みんなで繋ごう防災の輪～

担当委員会名：まちづくり委員会

委員長氏名：齋藤圭央

1. 事業目的：西置賜の行政・社会福祉協議会等との顔の見える関係を構築し、より繋がりを深め、情報を共有する。
2. 事業概要：西置賜の社協の方々、行政防災担当者に参加を頂き、ワークショップを実施しお互いの連携を深めた。
 - ・ワークショップの内容として、クロスロードゲームを採用した。
 - ・各市町村ごとに4つのグループに分かれた。(社会福祉協議会・行政の防災担当は自分の市町村に、メンバーはそれぞれに振り分けた。)
 - ・共通の設問に対し各グループごと意見交換を行った。(1問5分程度)
 - ・最後にグループごと1つの設問に対する意見や考えを発表した。
 - ・座談会と称し時間を設け、テーマを設け自由に意見交換や情報交換を行い親睦を深めた。
3. 実施日時：3月19日(木)午後6時30分～9時
4. 実施場所・会場：長井市民文化会館 3階 大会議室
5. 事業対象者：長井JC会員、長井市・白鷹町・飯豊町各社会福祉協議会、飯豊町行政防災担当者
6. 参加員数：29名(長井JC会員22名、社会福祉協議会 長井2名・飯豊1名・白鷹3名、飯豊町役場1名)
7. 決算総額：10,000円
8. 引き継ぎ事項：

外部の方々の参加が少なかったため、案内を含め早めに進める必要がある。

単年度ということがネックなので、外部にお伺いを立てる場合は前年度の委員長なり副理事長なりが同行し、話をしやすい環境を作ることも必要ではないか。

社会福祉協議会とは年間を通して繋がりががあるので、お願いすることばかりでなく応えることも必要。
9. 各担当者所見：

◆委員長

知識を深めるといった今までの防災事業とは違い、1市3町の社会福祉協議会との顔の見える関係を1番に考えて開催しました。どうしても固くなって意見が出ない、ただ発表するだけ、ただ聞くだけということにはしたくなかったため、今回のクロスロードは大変有意義であり、委員会の考えを満たすプログラムであったと思います。委員会内で行ったりハーサルの時点で手ごたえを感じていただけに、無事に終わることが出来て一安心しているところです。参加していただいた外部の方々にも面白かった、ぜひ次回もという言葉をいただき、事業の目的も達成できたかと思えます。

3月中旬の年度末という忙しい中ではありましたが、参加いただいたメンバーの皆様に感謝申し上げます。ありがとうございました。

◆担当副理事長

長井市社協・長井市役所防災担当者とは、今まで様々な形で連携を深めてきましたが、白鷹町・飯豊町の行政・社協の方々には初めて地域防災事業に参加して頂く事ができ、非常に有意義な機会になったのではないのでしょうか。今回の事業は、具体的な成果は見えづらいところではありますが、このような事業を継続的に実施し、お互い顔の見える関係を構築する事で、有事の際の連携をさらに強固なものにすることが出来るのではないかと思います。次年度以降も、地域防災について議論を交わす機会を設けることができれば幸いです。年度末の大変お忙しい中、参加頂いたメンバーの皆様には感謝申し上げます。

ながい OMOIYARI プロジェクト

事業名：ながい OMOIYARI プロジェクト

担当委員会名：まちづくり委員会

委員長氏名：齋藤圭央

1. 事業目的：地域の方々と一緒に花植えを行うことでふるさとについて考えると同時に OMOIYARI の心を育む。
2. 事業概要：長井青年会議所では長井市の最上川河川緑地公園内に於いて環境美化運動として花植えと

清掃活動を実施してきましたが、ふるさと OMOIYARI プロジェクトを同時開催として行うことで更なるおもいやりの心を育成する。幼稚園、保育園、児童センター園児や保護者に広報をした。またそれぞれの施設で参加者の取りまとめをしていただいた。花壇を活用し、その後、定期的な維持・管理作業の呼びかけをすることで土に触れ命の大切さを学び、さらにフットパス長井のタスパークホテルから同公園までを清掃範囲とすることで多くの市民にフットパスに触れる機会を創出し、実際に清掃活動をしながら歩くことで「水と緑と花のまち」と「OMOIYARI」を感じる事のできるまちづくり事業とした。

3. 実施日時：6月21日（日）9時30分～12時
4. 実施場所：最上川河川緑地公園・フットパス長井
5. 事業対象者：長井市内の幼稚園、保育園、児童センター園児とその保護者。他団体や地域住民等の一般参加者。
6. 参加員数：110名（長井JC会員21名、行政関係2名、園児保護者34名、一般参加者53名）
7. 決算総額：40,416円
8. 引き継ぎ事項：
 - ・今回は各銀行の支店長に直接ご挨拶、参加依頼を行った結果、外部参加者は計画より増えた。来年も継続して欲しい。
 - ・市報、ラジオでの参加者募集はあまり期待できない。直接他団体に依頼するなど検討して欲しい。
 - ・フットパスの歩道上、花壇周辺には殆どゴミが落ちていない。次年度は清掃場所や清掃内容を検討して欲しい。
 - ・自分が植えた花に愛着を持って頂く為にも、名前を書いたプレートを設置する等、継続して世話をしたくなるような工夫が必要。
 - ・アンケートの結果、市民憲章の内容を知らない方が7割を超えていた。このような機会に参加者に市民憲章を認知してもらう事は非常に有意義な事だと思う。次年度以降もぜひ継続して欲しい。
9. 各担当者所見：

◆委員長

まずは太陽のもとで開催できたことに一番ホッとしています。また、メンバーや家族の協力もあり、無事に終わられたことに感謝いたします。今年は公園内だけでなくフットパス長井まで範囲を広げ、ゴミ拾いと散策をしながら水と緑と花のまちながいを感じてもらう取り組みを実施しました。参加者の中には初めて来た人や知らなかった人と様々で、体験するきっかけと、新たな気付きになったのではないかと思います。しかし、アンケートには郷土愛が深まるにはもう一歩という声があり、改善の余地はまだあると痛感しました。次年度以降の事業展開に期待しております。

◆担当副理事長

今年度は昨年に続き、「ふるさと OMOIYARI プロジェクト」と「フラワーボランティア教室」を同時開催しました。多くの子どもたち・保護者や、地元企業の方、他団体の方々と共に無事開催できましたのもご協力いただいたメンバーの皆様のお陰です。誠にありがとうございました。この事業は、植栽後の維持管理が非常に難しく、気がつけば雑草が生い茂る様な状態が毎年発生しています。花壇の維持管理に関しては、花を植えばなしにならないよう、参加者にも継続して協力頂くことが当事業の大きな課題です。子ども達や地域住民の方と協働しながら花壇の管理が出来れば、ふるさとを思いやる心がもっと広がっていくのではないかと感じました。

防災フェスタ

事業名：創立50周年記念事業「防災フェスタ」

担当委員会名：まちづくり委員会

委員長氏名：齋藤圭央

1. 事業目的：地域住民が防災意識を共有し災害対応能力を高める。
2. 事業概要：
 - ① 念講演会 講師：Gratitude（グラッティテード）代表 加藤健一氏
演題『防災から見る未来のかたち』
 - ② 各種ブース
 - ・身近なもので作れる防災グッズ

キッチンペーパーマスク、新聞スリッパ

- ・防災グッズの展示
- ・非常食の試食
- ・しあわせな黄色いハンカチプロジェクト

ブース内で活動紹介とハンカチの無料配布。(理事長と担当委員会2名で参加)

社会福祉協議会が主催で行っている「ふれあい福祉まつり」と同日開催とすることで、単発で開催するよりも互いの集客力を生かしてより多くの参加者を呼び込むことが出来た。基本的な考え方として福祉・障害への理解・自分のことと関係ないという壁を取り除くきっかけ作り、誰でも来たいと思った人が来る事が出来るイベント(移動や施設内の介助などの環境が整っている)を目指しているためその一助を担うことが出来ると考え、同日の開催とした。

3. 実施日時：9月19日(土) 10時～15時30分
4. 実施場所：長井市置賜生涯学習プラザ
5. 事業対象者：1市3町の防災に携わる方(行政・社会福祉協議会・自主防災組織担当者)
県内青年会議所メンバー、一般参加者
6. 参加員数：919名(長井JC会員19名、一般参加者900名)
7. 決算総額：184,005円
8. 引き継ぎ事項：
 - ・予定者段階から事業の方向性が定まらず、非常に苦労した。単発での周年記念事業を実施する際には、早め早めの計画が重要。担当委員会に全てを任せるのではなく前年度役員や予定者段階の常任理事で、ある程度の方向性を決めておく必要があると考えます。
 - ・防災事業をするには、どうやったら参加者に来て頂けるかもっと熟考すべき。地域防災に関心が無い方々に興味を持って頂けるような事業内容・広報など。
9. 各担当者所見

◆委員長

防災フェスタと称して行った50周年記念事業では、今まで知らなかったことや様々な人との繋がりを見ることができ、大きな成長に繋がったのではないかと思います。立案段階から事業当日まで紆余曲折ありましたが、

大きな問題もなく終えることが出来たのは皆様の協力の賜物に他なりません。多くの方に長井青年会議所の存在を知っていただき、防災に対する意識に新たな気付きをもたらすことが出来たということは何より価値があったものと思います。この成果を今年だけで終わることの無いよう努めていきたいと思っています。

当事業に携わっていただいた全ての方々に感謝申し上げます、所見とさせていただきます。

◆担当副理事長

50周年記念事業を開催するにあたり、どのような事業を実施するか、予定者段階から委員会内で非常に悩み苦労してきました。予算を使いスポーツ選手や有名人を招いて講演会をするという事も考えられましたが、自分たちの手で何か地域の方の意識を変えるような事業を構築できないものかと思い、今回「防災」をテーマに事業を実施いたしました。「ふれあい福祉まつり」との共催ということで、準備段階から福祉まつり実行委員会に参加し、様々な外部団体と関わり、アドバイス等頂ながら事業を実施できた事は、今後の事業するにあたって非常に大きな事ではないかと感じます。当日は、メンバー全てに担当割をさせて頂き、当事業に協力賜りました事、感謝いたします。

クリスマスパーティー

事業名：クリスマスパーティー

担当委員会名：まちづくり委員会

委員長氏名：齋藤 圭央

1. 事業目的：メンバーと家族が垣根を超えて親睦を図り、相互理解を深める。

2. 事業概要：

感謝の意を表す場として家族と過ごす時間を楽しいものにしてもらえる設えを創出するなかで、未婚者にも楽しんでもらえるよう体験型のアトラクションを中心とした内容とした。

①ピザ作り体験 普通のピザと米粉のピザの2種類を準備。好きなトッピングでオリジナルのピザを作ろう！

②ケーキバイキング 1、香月 2、jiem

③ゲーム「箱の中身はなんだろな」

- 3. 実施日時：12月12日（土） 17：15～19：40
- 4. 実施場所・会場：農家レストラン エルベ 飯豊町萩生3549-1
- 5. 事業対象者：会員とその家族
- 6. 参加員数：長井JC会員13名、メンバー家族10名
- 7. 決算総額：無し
- 8. 引き継ぎ事項

・事業名・目的の段階から検討が必要ではないかと思う。
 ・家族向けか会員向けか、日にちと時間はどうか。毎年同じ部分で議論することになるので、ある程度の線引きが必要であると感じました。「委員長のやりたい事」や、「委員会で考えること」というところではないと思うので、広くメンバーにも話を聞き、多くの参加者が集まる事業にしてほしいと思います。

9. 各担当者所見

◆委員長 齋藤 圭央

今年は料理に重点を置き、独身者も楽しめるクリスマスパーティーを目指しました。今までにない飯豊開催ということもあり、様々心配事はありませんでしたが、料理、アトラクション共に好評の中終えることができました。人数的には物足りなさを感じましたが、年末の忙しい時期ではありますが、楽しい時間を共有できたものと思います。来年は参加者として協力し、そして楽しみたいと思います。皆様のご協力に感謝申し上げます。

◆担当副理事長 梅津壮一郎

例年、長井市内で開催しているクリスマスパーティーですが、初めて飯豊町で開催させて頂きました。新しいアトラクションへのチャレンジや、レストランでの実施という事で食事にもこだわった結果、奥様・お子様にも喜んで貰えるような内容になったのではないかと思います。メインの対象をメンバーにするか家族にするかで、近年議論が交わされる事もあります。メンバーも家族も共に楽しめるようなクリスマスパーティーを今後も開催できればと感じたところです。年末のお忙しい中、参加頂いた皆様ありがとうございました。

ゆめあかり委員会 事業報告書

- 担当副理事長 佐藤 真光
- 委員長 玉橋 恵子
- 副委員長 井上 典嗣
- 幹事 橋本 一磨
- 委員 船山 裕紀
- 委員 遠藤 穰一
- 委員 飯澤 栄人
- 委員 小林 和正

委員長所感

まずは、今年度ゆめあかり委員会の委員長という大任を務めさせていただきましたことに感謝を申し上げます。委員会のメイン事業である夢灯は、私が入会前から参加させていただいた、多くの人達との思い出がある大切な事業です。長井JCが50年を迎える節目の年に担当を務め、西置賜地区全域で開催できたことを、本当に嬉しく思います。

初の委員長職を務める中で様々な悩みや苦しみがあり、多くの人に助けていただいた一年でした。事業に関わってくくださった方々、そして支えてくれたメンバーの皆様心から感謝を申し上げたいと思います。ありがとうございました。

長井駅周辺整備事業

事業名：長井駅周辺整備事業

担当委員会名：ゆめあかり委員会

委員長氏名：玉橋恵子

- 1. 事業目的：長井駅周辺の良好な景観の保全と形成を図る。
- 2. 事業概要：長井駅の花壇植栽と駅周辺の整備を実施した。花壇には、雑草に強い性質を持ち長期間花を咲かせるメランポジウムを植栽、同時に壁画や周辺の状態について、目視による点検を行った。
- 3. 実施日時：5月21日（木）18時～18時30分
- 4. 実施場所・会場：長井駅プラットホーム向い壁画周辺及び花壇

5. 事業対象者：長井青年会議所メンバー
6. 参加員数：18名（担当委員会3名、その他メンバー15名）
7. 決算総額：10,385円
8. 引き継ぎ事項：
 - ・事前準備の作業も事業当日に行っても良いのではと感じました。人数にもよりますが、10人で2時間程と思います。
 - ・メンバーへの協力のアナウンスをしっかりと行い、定期的に除草作業を行ってください。特に、水まつりや長井おどり等のイベント時には、良好な景観が保てるよう整備活動を行ってください。
 - ・除草対策に除草剤の使用を検討してください。
 - ・例年、板垣洋一君に耕運機と運搬用の軽トラックをお借りしています。
9. 各担当者所見：

◆委員長

巨大壁画は制作から10年を経過し、現在は長井駅の顔として地域の人々に知られています。通学のために、毎日駅を利用する高校生達にとっては、この壁画が故郷の記憶のひとつとして将来長井を離れた後も心に残っていくのではないかと思います。

長井JCが壁画制作から10年間事業を継続し、壁画保存や周辺整備に取り組んできたことが、地域に伝わる新たな宝をつくり、そこに住む人達の郷土愛の醸成に繋がっていくものと思います。軽視されがちな事業ではありますが、今後も継続していく必要性を改めて感じたところです。ご協力いただきましたメンバーの皆様に感謝を申し上げ、担当所見とさせていただきます。

◆担当副理事長

例年行われている事業であり、壁画保全に関しても山形鉄道さんとの契約10年の節目を迎えたという事で一つの転換期かとも考えられましたが、近年行ってきた通りの景観整備の意味合いで継続的に実施したということに留まりました。ただ、やはり壁画に関しては今後どういった対応をすべきか検討しなければならないと思います。当年度において本格的に話し合いがなされなかった状況ですが、次年度以降何かしらのアクションなり方向

性の打ち出しが必要となってくると考えられます。次年度以降への持ち越しとなり甚だ無責任な物言いとなりますが、次年度以降担当される方々によるしくお願ひしたいと思ひます。

地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯り』

事業名：地域活性化事業『みんなで灯そう夢灯り』

担当委員会名：ゆめあかり委員会

委員長氏名：玉橋恵子

1. 事業目的：

- 1, まちづくりの輪を拡大し、地域の活力と郷土愛を醸成する。
- 2, 西置賜内外への地域の魅力発信と交流人口の増加を図る。

2. 事業概要：

今年度のテーマを「広がり」とし、西置賜地区内の子ども達が描いたランタンの点灯イベントを、長井市・白鷹町・飯豊町・小国町で開催した。また、事業実施までの事前準備や当日のランタン設置・点灯を地域団体・住民と連携・協働を図り行うことで、まちづくりの輪をさらに広げられるような事業展開とした。

【長井市】

あやめまつり開催期間中にあやめ公園にて、西置賜地区内の小学生が「夢・願い」を描いた小型ランタン4,000基、市内の中高生が描いた大型ランタン50基を公園内に設置・点灯した。小型ランタンは西置賜地区内の小学校に依頼し、児童全員に制作してもらい公園内の各学校エリアに設置した。小型ランタン4,000基の内訳は、長井市内小学校分1500基、白鷹町分700基、飯豊町分400基、小国町分400基、既成1,000基。一般参加者用に当日小型ランタン制作ブースも設けた。また、学校名を表示した中型ランタンと、長井市内の中学校・高校にクラスや部活単位で制作してもらった大型ランタン50基を各エリアに設置、当事業に協賛いただいた企業名を記載した大型ランタンを公園入口に設置した。

そのほか、べにばなレジェンドのけん玉大皿りレーイベントの開催や子ども向けアトラクションや子ども伝統

芸能披露、ステージイベントをあやめ会館前にて、参加費無料で実施した。

【白鷹町】

文化交流センターあゆむにて、白鷹町内の小学生が「夢・願い」を描いた小型ランタン 700 基を会場に設置・点灯した。学校毎にランタン用紙を色別で分け、各学校のエリアに設置、当日小型ランタン制作ブースも設けた。

そのほか、会場内において音楽イベントや子ども向けアトラクションを参加費無料で実施した。

【飯豊町】

フェット・ド・ラ・ミュージック、めざみの里まつりとそれぞれ併催し、2 回に渡り飯豊町内の小学生が「夢・願い」を描いた小型ランタン 400 基を会場に設置・点灯した。学校毎にランタン用紙を色別で分け、各学校のエリアに設置、当日小型ランタン制作ブースも設けた。

【小国町】

おぐに夏まつりと併催で、小国町内の小学生が「夢・願い」を描いた小型ランタン 400 基を会場に設置・点灯した。学校毎にランタン用紙を色別で分け、各学校のエリアに設置、当日小型ランタン制作ブースも設けた。

点灯イベント終了後、小学生が描いたランタンから数点選出し、ふれあい福祉まつりの会場で展示を行った。

3. 実施日時：【長井市】6月13日（土）、【白鷹町】11月3日（火・祝）、

【飯豊町】6月21日（日）、9月5日（土）、

【小国町】8月8日（土）

4. 実施場所・会場：【長井市】長井市あやめ公園

【白鷹町】白鷹町文化交流センターあゆむ

【飯豊町】飯豊町町民総合センターあーす

【小国町】小国町小国中学校

5. 事業対象者：西置賜地域、及び近隣地域の児童生徒、一般の方

6. 参加員数：9,469名（長井JC会員延人数158名、関係諸団体128名、一般参加者9,183名）

7. 決算総額：2,510,723円

8. 引き継ぎ事項：

・学校への訪問は入学式・卒業式等の忙しい時期をさける。当初の依頼は1月下旬～2月中旬がベスト。承諾

書は前年度中に受取っておく方が良い。

- ・委員会のみで運営することが難しく、学校訪問、会議への出席など、委員会メンバー外の協力を多くいただいた。4市町には各々特色や考え方があり、学校ごとに別々な対応が要求され、運営側の負担はかなり大きい。町ごとに数人体制で担当できれば良いが、次年度以降の継続は体制の検討が必要。
- ・今年度はJTの助成を受けることができたため予算に余裕がある事業を行えたが、次年度以降は資金不足が懸案される。

9. 各担当者所見：

◆委員長

西置賜地区全域での夢灯を終え、振り返ると、改めて多くの方々力をいただいたことを実感します。メンバーの皆様をはじめ、事業を通して出会った人達、これまでも親交のあった人達、数えきれない程の多くの人の協力をいただき実施することができました。そして、長井青年会議所の6年間の夢灯の歩みが、地域の信頼と実績の礎となり、実現できたものと思います。これまでの夢灯に携わっていただいた全ての方々に深く感謝を申し上げます。

次年度以降の夢灯が更なる発展を遂げ、素晴らしい事業が展開されることに期待し、担当所見といたします。ありがとうございました。

◆担当副理事長

7年目を迎えた「夢灯」事業に準備段階から多くのメンバーや外部の協力団体等の方々に携わって頂き、只々深く感謝申し上げる次第です。西置賜を活動エリアとする当青年会議所において、今年度の一市三町すべてのエリアでの事業展開が出来たことは画期的であり、これからの長井JCの活動の可能性を一段と掘り下げた形で次年度以降に引き継げるものかと考えております。ただ、事業規模が大きくなることでの協力体制を含む人員的負担や予算構築等の難しさは否めない状況であります。この「夢灯」事業の目的を果たすため、その年その年臨機応変に新しい展開を模索したり、見合った形での基本構想を打ち出したりと様々手法があるかと思えます。柔軟な発想のもと素晴らしい事業展開が今後とも継続するこ

とを望みます。

そして、玉橋委員長を先頭に「夢灯」事業に対して真摯に向き合い、様々な協力と知恵をおかし頂いた多くの

メンバーの皆様に感謝申し上げます。誠にありがとうございました。

事務局 事業報告書

●専務理事 樋口 和哉

●事務局長 齋藤 憲幸 ●補佐 大竹 貴之

●補佐 影山 孝史

●補佐 飯澤 喜治

委員長所感

今年度、事務局長の抱いをいただき感じたことは、事務局は正に縁の下を支える、無くてはならない非常にやりがいのある職務であるということでした。その職務を全う出来たのは、樋口専務、大竹補佐、影山補佐、飯澤補佐のお力添えの賜物です。幾度と助けていただき本当に心強く感じておりました。感謝申し上げます。ありがとうございました。

今年度長井 J C は創立 50 周年の節目を迎え新たな一歩を踏み出しました。正に温故知新、多くの学びがあり組織としても成長したのではないかと感じます。私自身も多くの貴重な経験をさせていただき新たな発見と気づきのあった成長の一年でした。その経験を今後より良い J C 活動が出来るよう活かして行きたいと思えます。最後に事務局の皆様、メンバーの皆様一年間ご協力をいただきありがとうございました。

新春賀詞交歓会

事業名：新春賀詞交歓会

担当委員会名：事務局

事務局長氏名：齋藤憲幸

1. 事業目的：外部の方に 2015 年度の事業を発表し、今後も我々の活動へご支援・ご協力をいただけるよう関係を構築すると共に、メンバーの J C 活動への意識向上を図る。
2. 事業概要：これまで長井 J C と関わりがあった各種方面の方々をお招きし、2015 年度の長井青年会議所の基本方針から事業計画までを発表し、どういった事業展開をしていくのかを周知しました。同時に、全ての J C メンバーも今年度の事業をしっかりと理解し、J C 活動への参画意欲を向上させました。ま

た、それぞれの団体の方々や OB の方々との懇話を通して情報交換と懇親を深めていただき、今後のまちづくりの更なる協力体制を構築する機会としました。

3. 実施日時：平成 27 年 1 月 15 日（木）午後 6 時 30 分～9 時 15 分
4. 実施場所・会場：(株)長井観光はぎ苑 新館
5. 事業対象者：長井 J C 会員・行政関係者・関係諸団体・長井 JCOB
6. 参加員数：48 名（長井 J C 会員 20 名、招待者来賓：14 名、長井 JCOB：15 名）
7. 決算総額：15,720 円
8. 引き継ぎ事項：
 - ・OB への案内方法の検討
 - ・プレジデンシャルリースはしっかり確認してください
 - ・住所の確認をしてください
 - ・来賓は事業で協力いただいている団体のみにするべき
9. 各担当者所見：

◆事務局長

2015 年度のスタートを切る大切な事業を担当させていただきながら当日欠席してしまい大変申し訳ありませんでした。板垣理事長から力強い挨拶があった。来賓の方々 OB の先輩方と交流を深められたというご意見を聞いて胸を撫で下ろした反面、いくつかの問題点をご指摘いただき益々精進しなければならないと気を引き締めさせていただきました。ご協力いただきました皆様に感謝を申し上げますと共に今後より一層精進することを申し上げます。ありがとうございました。

◆専務理事

当会創立 50 周年を迎える本年、年頭の事業として新春賀詞交歓会を開催させて頂きましたが、担当させて頂

いた事務局として当日までの準備や式典での当日の動き等、円滑に進行することが出来ず申し訳ありませんでした。賀詞交歓会は例年の継続事業として実施しておりますがどこか「こなし」になっている感が否めません。メンバーの出席率を振り返ってもほとんどが理事メンバーの出席のみで、フォロアメンバーの出席も促して全メンバーで来賓の皆様をお迎えすることがあって然るべきでした。メンバー各々の温度差もあるとは思いますが、事務局として一年懸けて「流汗悟道」の基本理念の下、全メンバーが団結し、同じ方向を向いて前進する。そんな組織を目指して精一杯の下支えをしていかなければと強く感じた賀詞交歓会でした。最後に年頭のご多用のなか参加、協力頂きましたメンバーの皆様に感謝申し上げ私の所見とさせていただきます。

山形ブロック協議会会長公式訪問例会

事業名：山形ブロック協議会会長公式訪問例会

担当委員会名：事務局

事務局長氏名：齋藤憲幸

1. 事業目的：ブロック会長・役員が第4エリアを訪問し公益社団法人日本青年会議所と山形ブロック協議会の基本方針や事業計画を聞いて、2015年度の方針と目的意識を共有することを目的とした。
2. 事業概要：山形ブロック協議会会長の第4エリア公式訪問にあわせ例会を実施
3. 実施日時：平成27年2月9日（月） 午後7時～午後8時30分
4. 実施場所・会場：東京第一ホテル米沢
5. 事業対象者：長井青年会議所メンバー、米沢 JC、南陽 JC、高島 JC、山形 BLC 役員
6. 参加員数：140名（長井 JC 会員 16名、山形 BLC 役員 24名、置賜 3JC 会員 100名）
7. 決算総額：14,616円
8. 引き継ぎ事項：
 - ・検証方法の検討をお願いします
 - ・参加率アップのために声掛けをお願いします。
 - ・参加出来なかったメンバーにも知る機会が必要ではな

いか、検討していただきたい。

9. 各担当者所見：

◆事務局長

まずは米沢の地で開催された山形ブロック協議会第4エリア会長公式訪問に参加いただいたメンバーの皆様には御礼を申し上げます。ありがとうございます御座いました。この例会はブロック会長の話を聞き、日本本会、ブロック協議会の方針、事業計画を知り連携を図る機会となる重要なものでした。参加されたメンバーの皆様も得るものが多かったと思います。そのことを今年の LOM での事業に活かしていただければ幸いです。

◆専務理事

今年度の日本本会、山形ブロック協議会の方針や取り組みを小野寺会長をはじめ、役員の皆様にご説明いただき参加されたメンバーには良い刺激になったと思います。LOM に一番近い組織として存在する山形ブロック協議会が掲げる夢と希望に満ち溢れる「やまがた」の実現に向けて、山形ブロック協議会が展開する事業に我々も積極的に参加し、学び得たことをしっかりと地域や LOM に還元していく事が重要であると考えます。お忙しいところ参加されたメンバーの皆様には感謝申し上げます。

次年度理事長候補者所信発表例会

事業名：次年度理事長候補者所信発表例会

担当委員会名：事務局

事務局長氏名：齋藤憲幸

1. 事業目的：次年度の方針性を理解し、地域に有益な活動の実現を図った。
2. 事業概要：次年度理事長候補者に所信を発表してもらい、2016年度の長井青年会議所の方針性を LOM メンバーが深く理解し、地域の発展のために自分たちに何ができるのかを一人ひとり考えるきっかけとしてもらう。そして、次年度の活動につなげる。
3. 実施日時：9月17日（木） 18時～22時
4. 実施場所・会場：長井市民文化会館 大会議室
5. 事業対象者：長井青年会議所メンバー
6. 参加者員数：19名（担当委員会3名、その他メンバー16名）

7. 決算総額：3,372 円

8. 引き継ぎ事項：

メンバーの出席率向上のため、声掛けをしっかりとるか、開催日を第三木曜に限定せずメンバーの集まりやすい日にしてはどうか。

9. 各担当者所見：

◆事務局長

まずは参加していただいたメンバーの皆様ありがとうございました。井上次年度理事長候補者の所信を拝聴してメンバーの皆様もしっかりとその思いを感じていただけたと思います。そして、メンバーの皆様から来年へ向けた決意を聞けるととても大切な例会であると改めて実感させていただきました。輝き続けるために今年も来年も全力で頑張りたいと思います。本当にありがとうございました。

◆専務理事

今年度、次年度が重なってくる時期ですが次年度理事長候補者の所信をお聞きし、理事長が目指す方向性や思いを理解する上でも大切な例会でありました。次年度へ向けて良い準備して、しっかりと理事長の思いを会員ひとり一人が体現出来るように共に努力して参りましょう。出席して頂いた皆様には感謝申し上げます。

置賜 4JC 合同例会

事業名：置賜 4JC 合同例会

担当委員会名：事務局

事務局長氏名：齋藤憲幸

1. 事業目的：置賜 4JC メンバーの資質の向上とメンバー同士の交流と親睦を目的とした。
2. 事業概要：スポーツを通じた交流は、他者との交流を深めるための有用な手段です。数あるスポーツの中でも、ボウリングは和気あいあいとコミュニケーションを取りながら行うことができ、レクリエーション感覚で楽しむこともできるため、かしくまった場での交流とは違ったコミュニケーションに繋がります。また、年齢、性別問わず手軽に楽しむ、天候に左右されず開催できる競技でもあることから、ボウリング大会を開催しました。

3. 実施日時：10月16日（金） 18時～20時12分

4. 実施場所・会場：米沢ボウリングレーン

5. 事業対象者：長井青年会議所メンバー、米沢 JC、南陽 JC、高島 JC

6. 参加員数：67名（長井 JC 会員 11名、米沢 JC・南陽 JC・高島 JC56名）

7. 決算総額：10,000 円

8. 引き継ぎ事項：

- ・出席率向上のため入念な声掛けをする。
- ・スポーツ等を通じた交流も好評だったのでスポーツ例会も候補にする。

9. 各担当者所見：

◆事務局長

まずはお忙しい中参加していただいたメンバーの皆様ありがとうございました。今回の合同例会は、今までにない試みとしてボウリングを通し懇親を深めるという内容でした。参加したメンバーの皆様からも好評で、会場内もとても盛り上がっていて他の置賜 3JC との絆が深まったと感じることが出来ました。来年は長井 JC が主催ということで、今年良かったと感じたことをしっかりと次年度へ引き継ぎたいと思います。ありがとうございました。

◆専務理事

例年の合同例会の内容とは違い、今年度担当された米沢 JC 平田理事長をはじめとするメンバーの思いが詰まった「楽しさ」を追求した例会だったように感じました。実際に参加して改めて何事も「楽しく」行動していく事が重要なのだと気付かされました。次年度は当会議所が担当しますので個人として LOM として大いに楽しく交流、親睦が図れる例会にして参りましょう。参加して頂いた皆様に感謝申し上げます。

会員褒賞

事業名：会員褒賞

担当委員会名：事務局

委員長氏名：齋藤憲幸

1. 事業目的：活躍されたメンバーの榮譽をたたえ、更なる積極的な活動を促し、全メンバーの参画意欲を

向上させた。

2. 事業概要：会員の例会や各種事業への出席率をもとに、褒賞対象を選出し、これを表彰した。選考に関しては、理事長を含めた事務局内で行った。
3. 実施日時：12月18日（金） 20：30～20：40
4. 実施場所・会場：タスパークホテル 9階 誰主？君主！
5. 事業対象者：長井青年会議所メンバー
6. 参加員数：長井JC会員 24名
7. 決算総額：無し

卒業式の中で実施する 20:30から10分間	
【出席率100%達成者対象者：7名】 ・11年達成 鈴木喜典君 ・9年達成 樋口和哉君 ・8年達成 井上典嗣君 ・5年達成 梅津壮一郎君 ・3年達成 齋藤繁喜君 ・3年達成 齋藤憲幸君 ・1年達成 齋藤圭央君	＜選定方法＞ $\text{出席率} = \frac{\text{例会+各種アテンド}}{12}$ 参考資料 2015出席状況 ※ 途中入会も対象とする 但し、6月までに正会員になった方
【特別賞】 ・新人賞 川合直仁君 ※小笠原委員長推薦	

8. 引き継ぎ事項
・個別の議案ではなく卒業式の一部として上程するべきだった。
9. 各担当者所見：

◆事務局長

この度褒賞を受けられた皆様おめでとうございます。褒賞を受けられた皆様の積極的に参加する姿勢は周りのメンバーにも活動への意欲向上などにつながっていると思います。是非とも来年も出席率 100%達成を目指していただきたいと思います。

◆専務理事

受賞されました皆様おめでとうございます。計画した側から申すのは失礼かと思いますが、会員である以上、積極的に例会や各種大会へ参加することは当然のことであり、皆が今年度受賞された会員のように積極的に参加していれば会員褒賞自体必要ないと思います。何のために活動をしているのか、今一度考える機会を頂いた場面でありました。次年度以降も一人でも多くの会員の積極的な行動を期待しまして私の所見とさせていただきます。ありがとうございました。

卒業式

事業名：卒業式
担当委員会名：事務局
委員長氏名：齋藤憲幸

1. 事業目的：今年度の活動評価と新年度の方針を会員全体で共有することによって新年度体制の円滑な組織運営の一助とした。また卒業会員の方々を模範として、後輩メンバーそれぞれのJC活動に対する意識の高揚を目的とした。
2. 事業概要：第1部では2015年度委員長から年間の総括を話して頂いた。

第2部では次年度の活動についてどんなことをするのかを2016年度委員長予定者から説明頂いた。第3部はこれまで明るい豊かな地域の実現の為に、そして何よりLOMの発展と後輩の成長の為に多大な時間と労力を費やし尽力して下さった卒業生の方々に対して、心からの感謝の気持ちを込めて、そして卒業生の方々のこれからの益々の活躍を祈念して卒業式を開催した。

3. 実施日時：12月18日（金） 19：00～22：15
4. 実施場所・会場：タスパークホテル 3階アゼリア 9階 誰主？君主！
5. 事業対象者：長井青年会議所会員全員
6. 参加員数：長井JC会員 24名
7. 決算総額：無し
8. 引き継ぎ事項

・実施プログラムについて、時間の配分に余裕をもたせてスムーズな進行を

・開催日については例会日にこだわらず集まりやすい日時の検討をしてください。

・卒業生には早い段階から出席のお願いをしてください。

・今回は和気藹々とした雰囲気の設えでしたが、セレモニー的な雰囲気とどちらが良いかは検討してください。

・卒業式とクリスマスパーティーの同時開催については卒業生の意向を反映して検討してください。(今回の卒業式は卒業生と検討した結果別開催とした。)

9. 各担当者所見

◆事務局長

卒業を迎えられた御二方、本当におめでとうございました。御二人からいただいた言葉には多くのメンバーが感動し、学びをいただいたと思います。私も御二人の言葉を胸に刻み更に今後の活動に励みたいと思います。卒業式も笑いありちょっとほろり、あつという間の時間だったと感じます。それも全て御二人の人柄あつてのものだったと思います。素晴らしい時間を過ごせたのもご協力いただいた皆様のおかげです本当にありがとうございました。

◆専務理事

当日は卒業生をお祝いするのに相応しく多くのメンバーの皆様に出席いただきまして感謝申し上げます。卒業生のこれまでの経験からくお話には心に響くものがあり、卒業生からいただいた言葉を糧にし、今後の JC 活動に活かしてまいります。御二人には卒業を新たなステップとしてこれからの人生を夢中になって歩まれることをご祈念申し上げます。

広報誌あゆみ

事業名：広報誌あゆみ

担当委員会名：事務局

事務局長氏名：齋藤憲幸

1. 事業目的：長井青年会議所の活動を広く地域の方に発信し、JC 活動の魅力を知って頂いた。
2. 事業概要：広報誌あゆみを発行し、長井青年会議所活動への地域の皆さんの理解を深め、共感を得ることができるような内容を目指し、JC 運動の目的や事業内容を見やすく紙面を作成しました。
3. 実施日時：11月16日（月）発行
4. 実施場所・会場：西置賜管内
5. 事業対象者：西置賜管内にお住いの方
6. 参加員数：33名（担当委員会5名、その他メンバー28名）
7. 決算総額：179,666円
8. 引き継ぎ事項：
 - ・何を伝えたいのかを一番に、JC の魅力が伝わるように紙面を構成する。

・一般の方が読みやすい、興味を引く紙面の作成をしてください。

・記事の提出期限は厳守していただくように。

・ホームページ、Facebook に掲載しても感想・意見は集まらない為検証材料にするには弱い。

・過去の広報誌あゆみを振り返る。

9. 各担当者所見：

◆事務局長

広報誌あゆみを発行する上でご協力いただいたメンバーの皆様、ありがとうございました。今年は創立 50 周年の節目の年でもあり、広報誌をどうするか悩みながら準備を進めておりました。その時も多くのメンバーから意見をいただき、また相談にのっていただきながらなんとか発行することが出来ました。発行後にメンバーの皆様から「良かった」「あゆみを読んで声を掛けられた」といった声を聴いて本当に嬉しく思いました。皆様には感謝の気持ちしか御座いません。本当にありがとうございました。

◆専務理事

節目の年に発行させて頂いた「あゆみ」ですが、企画から発行まで齋藤事務局長を中心に本当に良く頑張って作成して頂いたと思います。発行後の反応が例年になく多かったことから、多くの人の目に触れるような写真でインパクトを与え我々長井青年会議所を知っていただく入口としての役目を果たしたと思います。今後もメンバー一丸となり汗水流して弛まぬ運動を続けることでより充実した紙面内容になると信じております。御協力頂いた皆様に感謝申し上げます。

ホームページ運営

事業名：ホームページ運営

担当委員会名：事務局

委員長氏名：齋藤憲幸

1. 事業目的：長井青年会議所の活動をタイムリーに幅広く発信し、事業への協力と連携を深める。
2. 事業概要：ホームページ閲覧者への正確な情報の発信を、各委員会と連携しホームページを運営した。
2014 年度のホームページをベースとし改良を加え、

以下の修正を行った。

- ① 他団体とのリンクをバナーでつけた。
- ② 会員名簿を WEB 管理し、メンバー専用サイト (ID、パスワード付) で閲覧できるようにした。
- ③ facebook の活用・ホームページ更新方法・個人情報の取り扱い・顔写真等の配慮に関するマニュアルについて理事と各委員会担当者を対象に講習会を行った。
- ④ 不適正な個人情報の使用が無いよう管理をした。

3. 実施日時：通年

4. 実施場所・会場：無し

5. 事業対象者：長井青年会議所会員全員

6. 参加員数：長井 JC 会員 33 名

7. 決算総額：無し

8. 引き継ぎ事項：

・facebook とホームページの連携をしっかりとしてください。

・事業概要②会員名簿を WEB 管理し、メンバー専用サイト (ID、パスワード付) で閲覧できるようにする。を再度検討下さい。

・各委員会との連携、委員会から発信する情報の UP を依頼、検討下さい。

・Google Analytics (HP 分析ツール) を次年度へ早く引き継ぎする。

・facebook 対応について、不適正な個人情報の使用が無いよう管理できるように年当初の研修会で周知し、ページ編集者の役割がある方で管理・修正できる環境を整えて下さい。

9. 各担当者所見

◆事務局長

まずは一年間、ホームページと facebook の更新を担当していただいた影山補佐お疲れ様でした。こまめに情報を発信いただいたおかげでアクセス数の増加につながったのだと思います。また、facebook については前年以上に行政、他団体との連携を図り更なる情報の発信を行っていただきました。本当にありがとうございます。ただ、組織的な取り組みでの情報発信ではなく担当者まかせの形となり課題も残ったと思います。もっと各委員会との連携を図り様々な視点からの記事があっても良かったと反省しております。この部分は次年度にも引き継いでいただき更に進化した情報発信をしていただきたいと思えます。最後にご協力いただいたメンバーの皆様一年間ありがとうございました。

◆専務理事

長井 JC の情報発信ツールのひとつであるホームページ運営ですが、今年度は影山君を主担当として Facebook と連携させて新鮮な情報を熱心に更新した結果、例年よりも多くの方々に長井 JC を知っていただくことが出来たと感じております。影山君の出向先での学びが結果となって表れたのもひとつの要因ではないでしょうか。次年度は委員会毎にホームページ担当者を決めて更新していただくようですので、タイムリーな更新を心掛けていただければより活気あるホームページになり、より多くの方に長井 JC を知っていただけると考えます。御協力いただきました皆様に感謝申し上げます。

【出 向 報 告】

日本青年会議所 総務委員会
委員 遠藤 浩樹

出向報告

まずは、出向の機会を作っていただいた、板垣理事長始め、メンバーの方々に感謝申し上げます。今年度は2つの担いがありました。当初は、渉外委員会でエントリーをしていましたが、人数の都合で総務委員会となっています。そのことで渉外、総務両委員会の担いが出ています。

渉外委員会の担いは、高島 JC より国家グループ担当の常任理事 長谷川海秀君の補佐です。国家グループは日本再興会議、国史会議、サマーコンファレンス運営委員会、憲法論議推進委員会、主権国家確

率委員会、日本の未来選択委員会の6つより構成されています。室幹事として、寒河江J Cの大泉瑞穂君でした。大変お世話になりました。また、お疲れ様でした。

主な活動は、月1回の理事会にむけての6つの委員会より上程のある議案の添付ファイルの確認、誤字脱字のチェック、常任理事会、正副会頭会議に参加して、意見をまとめて次の日の理事会に対応することです。あとは、各種大会の常任のアテンド（かばん持ち）です。ここでは、2010年度長谷川副会頭補佐の経験が生かされたと思います。

総務委員会は、正副会頭会議、常任理事会、理事会の設営です。4つの小委員会にわかれ、担当の月は、各委員会より資料をいただき、各種会議の上程資料作成になります。基本的なことはLOMでも日本でも変わらないと思います。日本では、特に時間に厳しくて期限の1分でも遅れると上程できない事もあります。

メンバーの皆さんにお願いがあります。日本出向大変だなと思います。そして時間、お金はかかると思います。そこで「まずは一步踏み出す勇気を出す事」で、“一生の宝物”が見つかると思います。それをチャンスと捉えるか、行けないとあきらめるかは皆さんしだいです。最後に一年間ありがとうございました。

東北地区協議会 ゼミナール委員会
委員 佐藤 真光

出向報告

今年度、東北地区協議会のゼミナール委員会にへと出向させていただきましたが、一度の機会にしか出席できず、出向の責任を全うできず恥ずかしい限りです。はじめての地区への出向という事で楽しみでもあり、東北地区内の他LOMメンバーとの交流や互いの研鑽を大切にしなければ、JAYCEEに所属していることの意義や充実感を味わえないのは重々承知の上ではありましたが、このような状況となり不甲斐ない気持ちでいっぱいです。

今後、長井JCメンバーで地区等に出向する機会がありましたら、是非その機会を大切にし、活かさきっていただきと切に願うばかりです。

山形ブロック協議会 拡大実践会議
議長 鈴木 喜典

出向報告

山形ブロック協議会内LOMは長い間会員の減少が問題とされてきましたがブロック協議会内に支援委員会が設置されてから増加に転じています。2015年度は拡大に特化した会議体として新設されました。

今年度は会員拡大への意識変革とメンバーの資質向上を目的とした2つのセミナーを実施しました。会員拡大には正解がないといわれます。もちろん過程も大事ですが、より結果が求められるのが会員拡大です。しかしながら拡大人数を重視するだけでは明るい豊かな地域を作ることは困難です。メンバー数が多いから、少ないからでもありません。JCに入って、この地域をけん引する資質を向上させ、頼られるリーダー「豪傑」になる、そんな人材を多く発掘し成長させることが会員拡大の主たる目的であると考えました。両セミナーを通じて新たな考え方を実感していただけたのではないのでしょうか。また

もう一つの担いとして J C 空白地に運動を展開させることでした。新たな L O M 設立までは長い道のりを要します。県内に於いて市町村を跨いだ活動エリアを持つ L O M がいくつかあり、実際には運動の空白地はない状態です。しかしながら冠市町村での活動に特化して周辺エリアでの運動がされていないのが現状でした。この現状に対して各 L O M へ広域的な運動を展開するよう助言しました。今年度はより多くの L O M で広域的活動を実施いただき、そこから将来的に新たな L O M が設立されることを願います。

ブロック協議会では実際の会員拡大はできません。私個人としては担当役員としてリーダーである理事長へ拡大の気概を注入することを重要視しました。まずは L O M がその地域でどのような運動を展開しているか、自信を持って出来ている L O M にはメンバーは必ず入会します。そして必ず「豪傑」も育ちます。その結果、夢と希望に満ち溢れる「やまがた」も実現できます。

山形ブロック協議会 組織進化実践会議 副議長 井上 典嗣

出向報告

2015年度山形ブロック協議会に組織進化実践会議が新設され、組織進化の取り組みと山形ブロック協議会創立50周年へ向けた取り組み、全国大会東北八戸大会への支援等の職務を担わせていただきました。山形ブロック協議会の過去と未来を繋ぎ、進化させ創立50周年へ向け運動を進化継続していく取り組みを実施できたと考えております。

今年度、新しい取り組みとして実施した4エリア対話集会では歴代ブロック会長と理事長が対話を通じて青年会議所が大切にしていかなければならないことを再認識する機会を提供できたと感じております。また、近隣 L O M との距離を更に縮め、横の繋がりを強固にするきっかけとなったと思います。さらに、アニュアルレポートミーティング2015を開催するにあたっては理事長座談会を中間検証として設え、より良い検証を行って次年度へ繋ぐことができたと感じております。そして、全国大会東北八戸大会への支援として、設営や運営の手伝い、ブースの出展を行い東北人の「結」の精神を全国のメンバーを発信することができました。また、世界会議金沢大会へのブースの出展を行い「やまがた」の魅力を各国のメンバーへ発信をいたしました。

一年間の活動を通して素晴らしい経験をさせていただきました。支えてくださった海谷議長をはじめ、全ての皆様に心から感謝いたします。ありがとうございました。

山形ブロック協議会 拡大実践会議 運営幹事 齋藤 憲幸

出向報告

今年度、山形ブロック協議会 拡大実践会議に運営幹事として出向させていただきました。県内各地 L O M への会員拡大の支援ということで、各 L O M の拡大状況や取り組みの情報を集め、各 L O M 拡大担当者へその情報を発信し、拡大意識向上のセミナー、会員資質向上を目的としてセミナーを行う等、様々な形で係わらせていただきました。

この一年、県内各地の拡大の状況や取り組み等様々な情報を得るという貴重な経験をさせていただきました。この経験を今後の J C 活動や会員拡大へ活かして行きたいと思っております。一年間有難うございました。

山形ブロック協議会 拡大実践会議
議員 小関 弾

出向報告

会員拡大運動実践の会議体に出向し、その目的のための事業に取り組めたことは、私にとってとても貴重な経験になりました。都合によりすべての会議や事業に参加することはできませんでしたが、参加した際には県内各地の多才なメンバーにお会して様々なお話をお聞きすることができ、おおいに人生の糧となる時間を過ごすことができました。ありがとうございました。

山形ブロック協議会 組織進化実践会議
総括幹事 梅津 壮一郎

出向報告

今年度、山形ブロック協議会組織進化実践会議に総括幹事として出向させていただきました。組織進化実践会議では、4エリア対話集会とアニュアルレポートミーティングの実施、未来ビジョンの検証、各種大会の支援、山形ブロック協議会50周年に向けた資料の作成を行いました。

山形ブロック協議会の今までの運動や県内16LOMの事業に関しては分からない事が多く、対話集会や理事長座談会等で多くの気づきを得ることができ、大変有意義な機会となりました。変化のはやい時代だからこそ、現状に満足することなく時代に応じた進化をしながら、地域を活性させる運動を継続できる組織になっていく事が重要だと感じました。

今回、スタッフとしての出向という事で不安な部分が大きかったのですが、委員会メンバーに支えて頂き、何とか役目を全うできました。今回得た経験を、今後のLOMの活動に活かして行きたいと思えます。この度は、このような貴重な経験をさせて頂き、本当にありがとうございました。

山形ブロック協議会組織進化実践会議
議員 那須 丈雄

出向報告

今年度より新たに新設された組織進化実践会議に出向させていただきました。井上典嗣君が副議長として出向理事を務められる会議体で、中々出席はかなわなかったものの、今までのブロックの歴史を対話集会等で諸先輩方から直接お話をお伺いし、改めてここまで青年会議所が築き上げた実績や絆を改めて認識することが出来ました。

また、現役である私たちが今後どういったことを求められているのか、どういったことを実践して未来へつなげていくかということをおぼせていただくことが出来たのではないかと思います。ブロック大会支援など裏方での仕事なる会議体でしたが、山形ブロック協議会が50周年を迎えるなどその節目の年でしたし、その節目の年にこういった形で過去の実績とこれからの未来を創るための活動が出来ましたことを光栄に思います。

出向という機会を頂きました板垣理事長はじめ長井青年会議所メンバーに感謝させていただきながら、また皆様とこの経験を活かし明るい未来の実現に向けてさらに邁進させていただきたいと思えます。1年間誠にありがとうございました。

山形ブロック協議会 やまがた協働運動実践委員会
委員 児玉 大輔

出向報告

昨年度に引き続き、山形ブロック協議会 やまがた協働運動実践委員会に出向させていただきました。

委員会の主な活動内容としては、「UN MDG s 認知向上プログラム」と、「OMOIYARI プロジェクト」の二つの大きな柱で取り組んで参りました。

UN MDG s 認知向上プログラムは、各 LOM にプログラムの実施をお願いして参りましたが、ごく一部の LOM にとどまったようでした。今年初めて取り組んだ事業だったと思いますので、浸透するにはもう少し時間がかかるのかなと感じられました。

OMOIYARI プロジェクトにつきましては、2008年からの継続事業でありまして、今回で8回目を迎えます。だいぶ地域の方々に知られているのが肌で感じられ、とても嬉しく思いました。同じ日に、山形県全ての17LOM が地域の方々と一斉に活動することはとても意義深いものだと思います。大変素晴らしい事業でありますので、可能な限りこれからも続けてくれることを願います。

今年度、卒業年度であるわたくしではありましたが、なかなか委員会に参加出来ず、高橋委員長はじめスタッフの方々に多大なるご迷惑をおかけしました。自分の努力が足りなかったと深く反省しています。

最後に、今回このような機会を与えてくださいました板垣理事長に感謝を申し上げ、出向者所感と致します。

山形ブロック協議会 コミュニケーションデザイン確立委員会
委員 影山 孝史

出向報告

近年多くの方が使用する SNS での情報発信について、自分でも不確かなところがありまして委員として一年間経験させていただきました。強く思ったことは仲間があつて情報交換、相手に向かってコミュニケーションを取らないと何も始まらない、それって勿体ない。行きつくところは、(相手の思いを聞くことや)相手に伝えることでした。伝えようとする思い、強さに自分が JC に入会したきっかけがある事を思い出し、安藤副会長や小野委員長、メンバーの皆様とこういった機会をいただいたこと思い起こし、淋しさと御礼の言葉が浮かんでくるのでした。一年間ありがとうございます。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしく願いいたします。

山形ブロック協議会 地域の未来創造委員会
委員 小笠原 信吾

出向報告

- 1 地域の未来創造委員会が担った職務は、防災関係・地域経営・公開討論会対応でした。
- 2 防災関係に関しましては、4月25日に行われた防災セミナー及び6月30日に行われましたメインフォーラム・フォーラムⅡという事業を行いました。防災というテーマに対し、山形県内において現実に行われた取組・山形県外の講師をお招きして県外の情報を得る・子ども向けの防災教育という、異なる切り口から切り込んでいくことにより、多面的な知見を得ることができました。また、9月には

宮城県大崎市において豪雨災害が発生したため、災害救助の意味における防災を行いました。

- 3 地域経営に関しましては、10月12日の対話集会がその対象事業となります。今回は山形県内の大学生と各LOMの理事長方との対話をセッティングし、山形県の考える未来像及びその未来像を実現するための方策について20代の意見と30代の意見と交換してもらうことにより、より地域の未来を創り上げるためのビジョンが深まったと考えられます。
- 4 公開討論会に関しましては、3月1日にコーディネーター養成セミナーを行い、また、米沢市長選挙における支援を行いました。米沢市長選挙は3期12年を務めた現職と有力新人とが鎬を削る一騎打ちの様相を示しており、公開討論会のもつ意味合いもより大きなものであったと考えられます。そのため、よりシビアな運営を行う必要があったため、勉強になったと感じました。
- 5 LOM委員長を仰せつかった立場でありながら、このように得るもののある委員会に出向させていただきましたこと、また、LOM内での負担に関しご配慮をいただいたであろうことに対し、この場を借りて御礼申し上げます。

山形ブロック協議会 ブロック大会運営委員会
副委員長 小関 幸一

出向報告

私が今回出向させて頂きました山形ブロック協議会ブロック大会運営委員会は山形ブロック協議会が主催し、今年は村山JCが主管し開催致しました県内のLOMのメンバーが一同に集まる年に一度の大会です。各LOM出向メンバーで構成されるブロック大会運営委員会が村山JCさんと一丸となり、成功までに何度も委員会を開催させて頂きながら一年間活動して参りました。運営委員会メンバーが村山市のことを何も知らない中から、委員会が開催され、手探りの状態で県の職員の方や、村山市近隣の市町の関係諸団体の皆様とも沢山、関わらせて頂き少しずつ時間をかけ村山市の魅力を学んで参りました。私が担当させて頂きました広報部会は、ポスターやチラシ、ガイドブック、広報媒体の作成や、当日使用する印刷物などの手配や、各メディア、フリーペーパー、広報紙、ラジオ・テレビへの掲載・出演依頼、当日ボランティアスタッフの取りまとめ等、幅広く活動させて頂きました。広報部会メンバーの皆様よりも、ご支援とご協力を沢山頂きました。

この委員会で、沢山の限られた時間の中で出会うことが出来た各LOMの出向するメンバーの皆様との交流は、とても刺激となり、緊張感のある一年を過ごさせて頂きました。途中で、言葉では表せない様々な事が同時に起こり、精神的にも大変だなと感じる部分もありましたが、なんとか皆様のお力添えを頂き、役職を無事、終えることができました。しかしながら、まだまだ高橋委員長のサポートができない部分もあり、自分自身、未熟だと感じました。その部分は、正副役員の皆様のご指導もあり助けて頂き、どうか積極的に参加させて頂き、関わらせて頂きました。この一年の学びと気づきと経験を活かし、一生の宝としまして、今後のLOMでの活動に生かして参りたいと考えております。この機会を頂きました板垣理事長はじめメンバーの皆様、ブロック大会運営委員会の皆様、関係して頂きました全ての皆様に感謝し申し上げ所感と致します。本当にありがとうございました。

山形ブロック協議会 山形ブロック大会運営委員会
委員 船山 裕紀

出向報告

運営委員として山形ブロック大会の運営に参加させていただき、普段関わることの少ない活動地域が違う方々と協働し取り組めたことは私にとって大変貴重な経験となりました。

主に広報委員として山形ブロック大会当日のパンフレット作成を担当させていただきました。作成する中でたくさんの方々の山形ブロック大会への強く熱い想いを日々感じさせていただき、また、一つ一つの作業に正面から真摯に取り組む姿に感銘を受けました。

自分を見つめ直す大変貴重な機会を与えていただきありがとうございました。

山形ブロック協議会 事務局
事務局補佐 山口 康幸

出向報告

本年度、私を山形ブロック協議会事務局補佐として出向させていただきありがとうございました。会員会議所会議では、山形ブロック協議会会長や役員の方及び17LOMの理事長様方の考えや話しを直に聞くという貴重な経験をさせていただき、今まで以上に見識を広げることができ、より多くの気づきを得ることができました。また、出向しなければ得ることのできない非常に多くの人々と交流をはかることができ、様々なつながりを得ることができました。このつながりをこれからも大事にさせていただきたいと思っております。そして、この1年で得ることができた絆だったり、経験をもとに我々の地域のために何ができるのかを考え、2015年のスローガンである「流汗悟道」の精神のもと地域貢献できるようにしていきたいと考えております。最後に、出向という貴重な経験をいただき、このような気づきの機会を与えていただいたのは、板垣理事長を始め長井青年会議所メンバー皆様のご協力の賜物であります。本当にありがとうございました。

山形ブロック協議会 アカデミー委員会
委員 飯澤 喜治

出向報告

私のアカデミー委員会の活動の感想を述べたいと思います。7月26日に米沢市の松川河川敷で開催された「Music Festival 2015」に参加して来ました。

会場では「JCI NOTHING BUT NETSキャンペーン」、「新・日本風景論」、「未来へつなぐプロジェクト」の三塾事業のPRを行いました。初めてのアカデミー委員会の参加でしたが他のLOMのメンバーの温かい気遣いのおかげで様々な活動をスムーズに行うことができました。アカデミー委員会の活動内容がどのようなものであるか体験を通じて世界中、そして山形をより良いものにしていこうという気合をととても感じることができました。特に会場の来場者の前で新日本風景論のPRをさせていただいた事がとても貴重な経験できたと思います。多くの方々の前で発表をする機会が無いのでかなり緊張しましたが塾長はじめアカデミー委員会の支えがあり無事発表を終えることができました。他のLOMのメンバーとゆっくり話をすることが無かったのでとても新鮮な気持ちになりました。これから活動で経験したことを仕事、プライベートの両面において活かしていけたらいいなと思います。

山形ブロック協議会 アカデミー委員会
委員 川合 直仁

出向報告

本年度、アカデミー委員会に出向させていただきありがとうございました。都合により、全てのプログラム、事業に参加できませんでしたが、少ないながらも、県内各地の委員会メンバーと交流し、改めてJ Cについて学ぶことができ、今後のJ C活動、J C運動を行う上で非常に貴重な経験ができた一年でした。

最後に、板垣理事長を始め長井青年会議所メンバーの皆様から、アカデミー委員会に出向という役をいただいたことに深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

2015年度 貸借対照表(案)

2015年12月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	差異
I 資産の部			
1.流動資産			
現金預金	487,010	721,314	-234,304
未収金	59,000	36,000	23,000
未収会費	378,000	436,000	-58,000
流動資産合計	924,010	1,193,314	-269,304
2.固定資産			
(1)特定資産			
事業実施積立金	864,958	864,958	0
特別積立金	87,414	87,414	0
地域振興積立金	500,000	500,000	0
災害支援寄付金	3	3	0
特定資産合計	1,452,375	1,452,375	0
固定資産合計	1,452,375	1,452,375	0
資産合計	2,376,385	2,645,689	-269,304
II 負債の部			
1.流動負債			
未払金	0	249,254	-249,254
流動負債合計	0	249,254	-249,254
2.固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	0	249,254	-249,254
III 正味財産の部			
1.指定正味財産			
寄付金	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2.一般正味財産	2,376,735	2,396,435	-19,700
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	2,376,735	2,396,435	-19,700
負債及び正味財産合計	2,376,735	2,645,689	-268,954

2015年度 貸借対照表内訳表(案)

2015年12月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引消去	合計
I 資産の部					
1.流動資産					
現金預金		0	487,010		487,010
未収金		0	59,000		59,000
未収会費	286,200	0	91,800		378,000
流動資産合計	286,200	0	637,810		924,010
2.固定資産					
(1)特定資産					
事業実施積立金	864,958	0	0		864,958
特別積立金	87,414	0	0		87,414
地域振興積立金	500,000	0	0		500,000
災害支援寄付金	3	0	0		3
特定資産合計	1,452,375	0	0		1,452,375
固定資産合計	1,452,375	0	0		1,452,375
資産合計	1,738,575	0	637,810		2,376,385
II 負債の部					
1.流動負債					
未払金	0	0	0		0
流動負債合計	0	0	0		0
2.固定負債					
固定負債合計	0	0	0		0
負債合計	0	0	0		0
III 正味財産の部					
1.指定正味財産					
寄付金	0	0	0		0
指定正味財産合計	0	0	0		0
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
2.一般正味財産	1,738,925	0	637,810		2,376,735
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)		(0)
正味財産合計	1,738,925	0	637,810		2,376,735
負債及び正味財産合計	1,738,925	0	637,810		2,376,735

公益社団法人長井青年会議所
2015年度正味財産増減計算書 決算(案)
2015年1月1日から2015年12月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
特定資産受取利息	0	0	0	
受取入会金	20,000	50,000	△ 30,000	
受取入会金	20,000	50,000	△ 30,000	¥10,000×2名(大泉紀也君、小林和正君)
受取会費	2,982,500	2,951,500	31,000	
正会員会費	2,902,500	2,791,500	111,000	¥90,000×31名+年度内入会者分¥75,000×1名(大泉紀也君)+¥37,500×1名(小林和正君)(月割による)
特別会員会費	40,000	120,000	△ 80,000	¥20,000×2名(卒業者より)
賛助会員会費	40,000	40,000	0	¥20,000×2名(長井市長、長井商工会議所会頭より)
その他会費	0	0	0	
事業収益	151,000	40,000	111,000	
登録料収益	71,000	40,000	31,000	JC杯中学野球大会(春季)登録料¥45,000 人材育成セミナー登録料¥26,000
広告料収益	0	0	0	
販売収益	0	0	0	
雑収益	80,000	0	80,000	創立50周年記念式典御祝金
受取補助金等	1,610,000	317,970	1,292,030	
地方公共団体補助金	0	0	0	
民間補助金	1,500,000	140,000	1,360,000	夢灯 JTNP0助成金:¥1,500,000
地方公共団体助成金	70,000	20,000	50,000	フラワーボランティア謝礼金:¥20,000 長井市PTA連合会:¥50,000
民間助成金	40,000	157,970	△ 117,970	青年フォーラムブース出展助成金¥30,000 ブロック大会ブース出展助成金¥10,000
受取負担金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取寄付金	1,134,301	1,261,554	△ 127,253	
受取寄付金	1,134,301	1,261,554	△ 127,253	夢灯企業協賛金¥814,000 創立50周年記念式典協賛金¥310,000 JCカード還元金¥10,301
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	584	545	39	
受取利息収益	584	545	39	
その他の雑収益	0	0	0	
経常収益計	5,898,385	4,621,569	1,276,816	
(2) 経常費用				
事業費	5,041,867	4,092,839	949,028	公益事業費¥4,042,870÷経常費用¥5,918,085=公益事業比率68.3%
地域開発事業	3,273,019	2,129,402	1,143,617	
青少年育成事業	483,831	892,676	△ 408,845	
公益事業共通	286,020	272,878	13,142	
内部例会及び会員交流系事業	401,051	143,332	257,719	
広報系事業	263,762	85,412	178,350	
その他組織運営に関する事業	334,184	569,139	△ 234,955	
収益事業等共通	0	0	0	
管理費	876,218	1,088,567	△ 212,349	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	18,464	26,750	△ 8,286	香典・弔電・花代:¥18,464
会議費	36,180	19,080	17,100	臨時総会会場費:¥9,720、長井商工会議所会議室使用料2/5分¥6,480、3/5分¥6,480、4/2分¥6,480、
旅費交通費	0	0	0	2月臨時理事会会場使用料:¥1,620、8月総会会場費:¥5,400

通信運搬費	6,332	18,185	△ 11,853	切手代:¥916、会費納入案内:¥1,932、通常総会葉書代:¥1,768、総会案内:¥1,716
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	25,870	48,080	△ 22,210	スローガン看板:¥18,500、コピー代:¥1,320、ゴム印代:¥1,250、会員ネームプレート・バッジ:¥4,800
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	176,466	310,077	△ 133,611	手帳:¥118,800 年賀状:¥34,478 寒中見舞:¥4,288 封筒印刷:¥18,900
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	20,000	20,000	0	JCルームの賃借料¥20,000×12ヶ月 ※按分
保険料	0	9,300	△ 9,300	ボランティア活動保険未契約の為¥0
委託費	135,108	134,552	556	長井商工会議所事務員¥432,000:(1ヶ月¥36,000)、ホームページ作成・更新、ホスティング料等¥110,160 ※按分
租税公課	1,200	600	600	登記簿謄本印紙代:¥600、謄本代:¥600
支払負担金	370,200	354,187	16,013	JCI負担金¥40,320 ¥1,260×31名(年初会員数)+¥1,260(新規会員1名分) 日本JC負担金¥190,000: ¥30,000(基本額)+¥5,000×31名(年初会員数)+¥5,000(新規会員1名分) 地区協議会負担金¥73,000:¥5,000(基本金)+¥1,500×31名(年初会員数)+¥1,500(新規会員分)+委員会活動費¥10,000+¥10,000(佐藤真光君) ブロック協議会負担金¥180,000:¥10,000(基本金)+¥5,000×31名(年初会員数)+¥5,000(新規会員分)+¥5,000×2名(飯澤喜治君、川合直仁君) 国際協力資金¥58,400:¥1,825×31名(年初会員数)+¥1,825(新規会員1名分) 日本JC出向者負担金¥20,000(遠藤浩樹君) We Believe購読料¥94,500:¥3,000×31名(年初会員数)+¥1,500(新規会員分) JC支払負担金総計:¥656,220
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
交際費	68,000	110,918	△ 42,918	周年会議所お祝い他:¥31,000、関係団体年会費¥37,000
雑費	18,398	36,838	△ 18,440	振込手数料:¥7,038、残高証明書代:¥2,160、納税証明書代:¥1,200、京都会議登録料:¥8,000
経常費用計	5,918,085	5,181,406	736,679	
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 19,700	△ 559,837	540,137	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	△ 19,700	△ 559,837	540,137	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 19,700	△ 559,837	540,137	
一般正味財産期首残高	2,396,435	2,956,272	△ 559,837	
一般正味財産期末残高	2,376,735	2,396,435	△ 19,700	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
.....	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,376,735	2,396,435	△ 19,700	

賃借料	246,992	105,570	0	352,562	112,895	20,000	20,000	0	152,895	0	505,457
保険料	10,905	1,833	0	12,738	0	0	0	0	0	0	12,738
請附金	823,963	77,497	0	901,460	55,105	0	0	0	55,105	0	956,565
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払負担金	0	0	286,020	286,020	0	0	0	0	0	0	286,020
支払助成金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託費	522,600	119,448	0	642,108	70,740	139,914	48,708	0	250,362	0	901,470
有価証券運用損	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	193,942	32,931	0	226,873	44,330	0	1,200	0	45,530	0	272,403
管理費									876,218	0	876,218
役員報酬									0	0	0
給料手当									0	0	0
退職給付費用									0	0	0
福利厚生費									0	0	0
会議費									18,464	0	18,464
旅費交通費									36,180	0	36,180
通信運搬費									0	0	0
減価償却費									6,332	0	6,332
消耗什器備品費									0	0	0
消耗品費									25,570	0	25,570
修繕費									0	0	0
印刷製本費									176,466	0	176,466
燃料費									0	0	0
光熱水料費									20,000	0	20,000
賃借料									0	0	0
保険料									0	0	0
委託費									135,108	0	135,108
租税公課									1,200	0	1,200
支払負担金									370,200	0	370,200
支払寄付金									0	0	0
支払利息									0	0	0
交際費									68,000	0	68,000
雑費									18,388	0	18,388
経常費用計	3,273,019	483,831	286,020	4,042,870	401,051	263,762	334,184	0	998,997	0	5,918,085
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 913,019	△ 388,831	915,330	△ 386,920	△ 206,051	△ 263,762	△ 139,184	608,997	0	0	△ 19,700
基本財産評価増減等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
特定資産評価増減等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
投資有価証券評価増減等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常増減額	△ 913,019	△ 388,831	915,330	△ 386,920	△ 206,051	△ 263,762	△ 139,184	608,997	0	0	△ 19,700
2. 経常外増減の部											
(1) 経常外収益											
中科目別記載											
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用											
中科目別記載											
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 913,019	△ 388,831	915,330	△ 386,920	△ 206,051	△ 263,762	△ 139,184	608,997	0	0	△ 19,700
一般正味財産期首高											
一般正味財産期末高	△ 913,019	△ 388,831	2,282,989	2,282,989	△ 386,920	1,896,469	1,896,469	△ 263,762	△ 263,762	△ 139,184	2,376,735
II 指定正味財産増減の部											
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
.....	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期末高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
III 正味財産期末高	△ 913,019	△ 388,831	3,198,319	1,896,469	△ 206,051	△ 263,762	△ 139,184	608,997	0	0	2,376,735

2015年度財務諸表に対する注記（案）

1. 継続事業の前提に関する注記

該当無し。

2. 重要な会計方針

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

該当無し。

(2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

該当無し。

(3) 固定資産の減価償却の方法

該当無し。

(4) 引当金の計上基準

該当無し。

(5) キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲

該当無し。

(6) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込み方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当無し。

4. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

（単位：円）

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業実施積立金	864,958	329	0	865,287
特別積立金	87,414	21	0	87,435
地域振興積立金	500,000	0	0	500,000
災害支援寄付金	3	0	0	3
小 計	1,452,375	350	0	1,452,725
合 計	1,452,375	350	0	1,452,725

5. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財 産からの充当額)	(うち一般正味財 産からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
小 計	0	0	0	0
特定資産				
事業実施積立金	864,958	0	864,958	0
特別積立金	87,414	0	87,414	0
地域振興積立金	500,000	0	500,000	0
災害支援寄付金	3	0	3	0
小 計	1,452,375	0	1,452,375	0
合 計	1,452,375	0	1,452,375	0

6. 担保に供している資産

該当無し。

7. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

該当無し。

8. 債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高

債権の債権金額、貸倒引当金の当期末残高及び当期債権の当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	債権金額	貸倒引当金の当期末残高	債権の当期末残高
未収金	59,000	0	59,000
未収会費	378,000	0	378,000
合 計	437,000	0	437,000

9. 保証債務(債務保証を主たる目的事業としている場合を除く。)等の偶発債務

該当無し。

10. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

該当無し。

11. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残高	当期増加額	当期減少額	当期末 残高	貸借対照表上 の記載区分
地方公共団体補助金						
フラワーボランティア 事業助成金	長井市	0	20,000	20,000	0	
民間補助金						
JT NPO 事業 助成金	日本たばこ産業 株式会社	0	1,500,000	1,500,000	0	
長井市 PTA 連合会補 助金	長井市 PTA 連合 会	0	50,000	50,000	0	
民間助成金						
東北青年フォーラム ブース出展補助金	公益社団法人 日本青年会議 所東北地区 協議会	0	30,000	30,000	0	
山形ブロック大会 むらやま大会ブース 出展補助金	公益社団法人 日本青年会議 所東北地区 山形ブロック 協議会	0	10,000	10,000	0	
合 計		0	1,610,000	1,610,000	0	

12. 基金及び代替基金の増減額及びその残高

該当無し。

13. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
事業実施による振替額	0
合 計	0

14. 関連当事者との取引の内容

該当無し。

15. キャッシュ・フロー計算書の資金の範囲及び重要な非資金取引
該当無し。

16. 重要な後発事象
該当無し。

17. その他
該当無し。

2015年度附属明細書（案）

1. 基本財産及び特定資産の明細
財務諸表に対する注記に記載。

2. 引当金の明細
該当無し。

2015年度 財産目録(案)

2015年12月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金	手元保管	運転資金として	307,746	
預金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 0010707	運転資金として	179,614	
	普通預金 山形中央信用組合本店 口座番号 1417583	運転資金として	0	
	普通預金 きらやか銀行長井支店 口座番号 100960	運転資金として	0	
	普通預金 荘内銀行長井支店 口座番号 149318	運転資金として	0	
未収金	菅原純一君2013年度ブロック大会登録料(¥3,000)	2013年度県大会登録料未収金	59,000	
	菅原純一君2014年度ブロック大会登録料(¥3,000)	2014年度県大会登録料未収金		
	菅原純一君2014年度フォーラム登録料(¥7,000)	2014年度地区大会登録料未収金		
	菅原純一君2015年度ブロック大会登録料(¥3,000)	2015年度県大会登録料未収金		
	菅原純一君2015年度全国大会登録料(¥10,000)	2015年度全国大会登録料未収金		
	菅原純一君2015年度50周年特別協賛金(¥10,000)	2015年度周年特別協賛金未収金		
	鈴木亜由美君2015年度ブロック大会登録料(¥3,000)	2015年度県大会登録料未収金		
	鈴木亜由美君2015年度全国大会登録料(¥10,000)	2015年度全国大会登録料未収金		
鈴木亜由美君2015年度50周年特別協賛金(¥10,000)	2015年度周年特別協賛金未収金			
未収会費	菅原純一君2013年度分(¥108,000)	2013年度分会費未収金	378,000	
	菅原純一君2014年度分(¥90,000)	2014年度分会費未収金		
	菅原純一君2015年度分(¥90,000)	2015年度分会費未収金		
	鈴木亜由美君2015年度分(¥90,000)	2015年度分会費未収金		
流動資産合計			924,360	
(固定資産)				
特定資産	事業実施積立金	定期預金 山形中央信用組合本店 口座番号 00008910	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。	864,958
	特別積立金	定期預金 山形銀行長井支店 口座番号 3033050068	公益目的事業会計の収支決算に 損失が生じたとき、損失額の補填を 目的とする。	87,414
	地域振興積立金	有価証券	山形鉄道(株)の有価証券で、 地域振興を目的とする。	500,000
	災害支援寄付金	普通預金 山形銀行長井支店 口座番号 3129454	災害支援事業に充てる目的で、 受け入れた寄付金。	3
固定資産合計			1,452,375	
資産合計			2,376,735	
(流動負債)				
流動負債合計			0	
(固定負債)				
固定負債合計			0	
負債合計			0	
正味財産			2,376,735	

公益社団法人長井青年会議所
2015年度委員会別事業費収支計算書（決算(案)）

(単位:円)

事業名称	事業区分	当年度		
		事業費	事業別収入	事業費繰入収入
ひとづくり委員会				
第24回JC杯中学野球大会(春季)	公2	83,000	45,000	38,000
ながい寺子屋	公2	88,553	0	88,553
第24回JC杯中学野球大会(秋季)	公2	29,041	0	29,041
講演会	公2	83,789	50,000	33,789
納涼パーティー	他1	0	0	0
	小計	284,383	95,000	189,383
まちづくり委員会				
創立50周年記念事業	公1	184,005	0	184,005
ふるさとOMOIYARIプロジェクト	公1	40,416	20,000	20,416
地域防災セミナー	他1	10,000	0	10,000
クリスマスパーティー	他1	0	0	0
	小計	234,421	20,000	214,421
ゆめあかり委員会				
地域活性化事業「夢灯」	公1	2,510,723	2,314,000	196,723
長井駅周辺整備事業	公1	10,385	0	10,385
	小計	2,521,108	2,314,000	207,108
未来創造会議				
会員拡大運動	他3	21,000	0	21,000
人材育成事業	公1	328,042	26,000	302,042
JCアカデミー	他1	40,000	0	40,000
長井JC運動指針策定	他3	0	0	0
つながりから始まるまちづくり	他3	16,625	0	16,625
	小計	405,667	26,000	379,667
事務局				
新春賀詞交歓会	他2	15,720	0	15,720
置賜4JC合同例会	他1	10,000	0	10,000
次年度理事長予定者所信発表例会	他1	3,372	0	3,372
ブロック会長公式訪問	他1	14,616	0	14,616
卒業式	他1	0	0	0
ホームページ運営	他2	0	0	0
広報誌「あゆみ」	他2	179,334	0	179,334
	小計	223,042	0	223,042
創立50周年実行委員会				
創立50周年記念式典の企画・運営	他1	215,698	195,000	20,698
創立50周年記念祝賀会の企画・運営	他1	0	0	0
創立50周年記念誌の発行および式典・祝賀会の総務	他3	244,476	195,000	49,476
	小計	460,174	390,000	70,174
合計		4,128,795	2,845,000	1,283,795

※事業区分について、公1＝地域開発事業、公2＝青少年育成事業、他1＝内部例会及び会員交流系事業、他2＝広報系事業、他3＝その他組織運営に関する事業

監 査 報 告 書

公益社団法人 長井青年会議所
理事長 板垣 洋一 殿

2015年1月1日から2015年12月31日までの会計年度における会計及び業務の監査を行い、次の通り報告する。

1. 監査方法の概要

- (1) 会計監査について、帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて計算書類の正当性を検討した。
- (2) 業務監査について、理事会及びその他の会議に出席し理事からの報告を聴取し、関係種類の閲覧など必要と思われる監査手段を用いて業務執行の妥当性を検討した。

2. 監査意見

- (1) 正味財産増減計算書・貸借対照表及び財産目録は会計帳簿の金額と一致し法人の終始状況及び財産状態を正しく表示しているものと認められる。
- (2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。
- (3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認められる。

以上

平成28年 1月 11日

公益社団法人 長井青年会議所

監事

鈴木喜典



印

備 品 目 録

[2015年12月31日現在]

1、木制書（89年度卒業記念寄贈）	1台
2、演台（90年度卒業記念寄贈）	1台
3、黒板（90年度卒業記念寄贈）	1台
4、ネームプレートキャリーバック	1台
5、スチール書庫	3台
6、書類（天童寺派館長関牧翁師書他）	1額
7、ゴング（米沢J C寄贈）	1式
8、野球ユニフォーム	10着
9、J C法被	26着
10、J C綱領版（新潟J C寄贈）	1式
11、腕章	19本
12、CD（国家、J Cソング他）	1枚
13、J Cジャンパー	25着
14、入会認定書	1額
15、日本青年会議所新聞（縮刷版）Vol. 1～3	1式
16、祭事用テント（95年度卒業記念寄贈）	1張
17、拡声器（96年度卒業記念寄贈）	1台
18、例会場看板（97年度卒業記念寄贈）	1枚
19、プレジデンシャルリース（98年度卒業記念寄贈）	1式
20、国旗、J C旗（99年度卒業記念寄贈）	1式
21、デジタルカメラ（00年度卒業記念寄贈）	1台
22、PCカード	1枚
23、ICレコーダー（04年度卒業記念寄贈）	1台
24、プレジデンシャルリース J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1式
25、ハンマー J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1台
26、J C旗 J C I マーク変更の為（06年度卒業記念寄贈）	1式
27、J Cゴング J C I マーク変更の為マーク部分のみ（06年度卒業記念寄贈）	1式
28、デジタルビデオ	1台
29、ホワイトボード	1台
30、テント	3張
31、プロジェクター	1台
32、スクリーン	1台
33、誘導棒（米沢J C寄贈）	6本
34、拡声器（米沢J C寄贈）	1台

2016 年度 基本資料

2016年度スローガン

公益社団法人 長井青年会議所

個々の輝きを地域の光へ

Stay Gold!

公益社団法人 日本青年会議所

強く 優しく しなやかに

あらゆる価値の根源となれ!

公益社団法人 日本青年会議所

東北地区協議会

次世代へ夢と希望溢れる東北の実現

公益社団法人 日本青年会議所

東北地区 山形ブロック協議会

次世代へつなぐ夢と希望溢れるやまがたの実現

公益社団法人 長井青年会議所
2016年度 理事長所信

公益社団法人 長井青年会議所
第51代理事長 井上 典嗣

はじめに

1966年、長井・西置賜地域に大きな志と情熱溢れる33名の青年によって山形県内で4番目の青年会議所として長井青年会議所は誕生しました。それから半世紀の長きに亘り私達の先輩方は、まちの変化、人々の生活の変化に対応しながら数多くの運動を展開され、地域になくはならない組織としての信頼を得てきました。また、長井青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現に向けた運動を通して、地域を牽引するリーダーを育成し、長井西置賜をリードする人材を輩出していくことでも信頼を積み上げてきた団体です。これからも、地域を変革する気概を持ち、信念ある行動で社会の期待に応えなければなりません。この地域で住み暮らし、経済活動を行っている私達がこの地域の課題を一番知っているはずで、人任せにせず、主体的に行動をしなければ本当の意味でこの地域を良くすることはできないでしょう。

J Cしかない時代から、J Cもある時代になったと言われるようになって久しく感じます。しかし、青年会議所は無くなっていません。この地域に必要であり、無ければならない存在意義が必ずあると信じています。この地域が何を求めているのかを常に考え、時代の変化に対応し、我々だからこそできることを追求していく必要があります。また、青年会議所は市民意識変革団体です。人の意識に変化を与えるためには、まずは、メンバーが人として魅力的でなければならないと思います。物事に真剣に取り組む姿勢を見せ、他者に影響を与えられる人間であるために自身を磨き続けましょう。さらに、公益組織のメンバーとして誇りを持って行動すると共に、常に謙虚な気持ちを持って学び続けていかなければなりません。積み重ねてきたものにとらわれてばかりでは成長しません。他者に寛容であり、常に謙虚に耳を傾ける。そんな素直な心で他者から学び続けましょう。自分以外は皆、先生なのです。

51年目の新たな一步を踏み出す今、愛するまちの未来を明るく照らし、これから先もこの地域から必要とされ続ける存在であるために、共にキラキラ輝き続けましょう。

輝く未来への一步を踏み出すにあたり

長井青年会議所は時代の変化にあわせて、数多くの事業を展開して参りました。今現在も継続事業として続けて行っている事業もあり、どの事業も必要であることに違いはありませんが、この地域に本当に今必要なことは何かを再度よく考えていきたいと思えます。メンバー数に見合わない程の事業の数では、一つ一つの事業に心を込めて実施するどころか、こなしていくのが精一杯という状況になることが危惧されます。それぞれの事業を始めた本来の目的をもう一度認識したうえで、今後どのように取り組んでいくかを再度考えていきましょう。新たなものを手にいれる、もしくは進化していくには、背負っているものを整理することも必要だと考えます。そして、真に必要な運動に注力し、その運動の幹を太くしていきましょう。また、新しい時代を切り拓く運動は、自分たちがやるという気概と情熱、そして斬新なアイデアから生まれると思えますので、物事を構築していく際には、それが面白いかどうかとい

うことも意識して参りましょう。また、地域活性化事業、青少年育成事業の大きく二つの運動がメイン事業という形を近年確立することができ、どちらも地域の未来を考えると必要な取り組みであり継続していく必要があります。例年開催しているからということではなく、もう一度この事業を始めた創始の精神を学び本質は変えることなく、手法はどんどん進化させて継続していくことが重要です。この二つのメイン事業を長井青年会議所の運動の基軸として51年目新たな一步を踏み出しましょう。

地域の人々との協働による輝く地域活性化事業

私達が暮らす長井西置賜は、先人たちが守り育ててきた緑あふれる豊かな自然を有し、多くの資源に恵まれ、人々は他を慮る心である利他の精神が根付いており、そんなこの地域を私は誇りに思っております。近年、全国的に少子高齢化や人口減少といった問題を抱えておりますが、西置賜も若者の地域離れもあり、それらの問題は深刻になっていくことが懸念されます。そのような中にあっても、地域の魅力を最大限に活かしながら、地域に住む人々が自分達のまちに誇りを持ち、幸せを実感できるよう活力を与える運動を行っていきます。

地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」は昨年、念願であった一市三町で開催することができました。長井市、白鷹町、飯豊町、小国町を活動エリアとする長井青年会議所のあるべき姿であり、ありがたい姿でありましたし、一市三町で開催することにより西置賜の一体感を感じることができました。また、より多くの人々に夢灯を体感いただき、生まれ住む地域の良さを再認識し、地域を愛する心と活力を生み出したと共に、これまで以上に多くの他団体や個人がまちづくりに携わる喜びを実感できる機会を提供できたのではないかと感じております。

今年で8回目を数える「みんなで灯そう夢灯」は継続事業として地域に定着しつつある長井青年会議所のメイン事業です。事業の本質を忘れなければ、これまでのやり方にとらわれることなく、全く新しい視点や手法を取り入れていきたいと考えております。自分達が面白いと思うことはどんどん取り入れ、これまで以上にワクワクする事業にしていくと共に、地域の諸問題にも目を向け進化させていきたいと思っております。そして、多くの子ども達の夢や願いを地域に発信することで、地域全体が夢を実現できるような環境を皆で作上げていこうという意識が高まり、希望溢れる幸せを実感できるまちの実現に繋がると信じております。また、地域社会に定着しつつあり認知されてきている事業でありますので、これまで以上に多くの方々から企画立案から携わっていただき、長井青年会議所だけではなく地域の事業となっていくようなことも視野に入れ検討する時期に来ているのではないかと感じます。さらに、夢灯を通じて得た経験や人脈を活用して更なる運動展開を意識し、この地域の未来に関わる大きな問題に対する活動も検討していきたいと思っております。

輝く未来を担う子ども達の為に

未来を担う青少年を「地域のたから」として心身ともに健やかにたくましく育むことは誰しも願うことであります。しかし、青少年を取り巻く環境は、ライフスタイルや価値観の多様化、情報の氾濫等、複雑化が進み、それによって諸問題も発生しております。生まれた時からパソコン等の情報端末が普及している時代ですから、幼いころから一人で遊ぶ機会が多く、地域社会で地域の大人から教わったり、叱られたりすることなど、子ども達が遊びや人々とのふれあいを通じて社会性を学ぶ機会が減っていることも一理あると思っております。この変化の早い時代に、子ども達にとって失われている大切なものや必要

なもの何かを考えていく必要があります。また、家庭や地域の大人達は子ども達が健やかに成長するための環境を整えていく責務があります。気が付けば親がしていること、発した言葉を子ども達が真似していることはよくあることです。親が子どもの教育について真剣に考え、向き合わなければならないと思いますし、それは間違いなく子どもの成長に大きな影響を及ぼします。子は親を映す鏡なのです。

長井青年会議所では近年、「ながい寺子屋」という事業を通して、地域の自然、歴史、文化を活かした青少年育成事業に取り組んできました。今年度は新しい切り口から、教科書には載っていない、塾でも教えてくれないようなことを、体験を通して子ども達の心身ともに健全で主体的に生きる力を育てていく青少年育成事業を実践していきます。

また、様々な分野の技術の進化や企業のグローバル化により、今後無くなる職業が増え、職場の環境が変化すると言われておりますので、将来そのような時代を生き抜くために、新しい仕事を創出できるような柔軟な発想力や環境に対応する能力を育てていくことも大切であると思います。親と子が共に成長できる場を提供することが、未来を羽ばたく青少年の健全育成に繋がり、この地域の未来を輝かせてくれると信じています。

新たな出会いが輝く未来をつくる

私は長井青年会議所に入会して間違いなく考えが変わりました。入会するまでは、まちづくりは行政か誰かがやってくれるものだと思っていましたので、地域の活性化や、青少年育成というものをほとんど考えたことはありませんでした。しかし、J Cに入会し、この地域の事を考え、地域活性化や青少年育成のこと、防災について等々を考えるようになり、志の高い仲間と共に学び行動をするようになりました。以前の私と同じように、まちづくりに興味が持てない、もしくは具体的に行動していない若者が青年会議所に入会し、考えが変わりこの地域の未来を本気で憂い行動すればどうでしょう。一人でも多くの仲間を創出することが、私たちの目的である「明るい豊かな社会」の実現へ近づくと考えますので、会員拡大は最も重要なJ C活動なのです。

近年、全国の青年会議所で会員減少が叫ばれるなか、長井青年会議所では会員拡大へ情熱をもって取り組んで参りましたので減少はしておりませんが、半数以上のメンバーは5年以内に40歳を迎え卒業してしまいます。これまで以上に会員拡大を行っていかねば長井青年会議所の存続すら危ぶまれてしまいます。2016年度は確実に会員数を増加させます。とにかく一人ひとりが行動を起こすしかありません。そして、長井青年会議所の魅力を、私達が進めている運動を伝えていきましょう。また、入会を決断してくれた仲間と共にしっかりと成長していくために、現役会員が新入会員をサポートする仕組み作りをしていきます。そして、その成長を組織力強化に結びつけ、これまで以上にこの地域に貢献できる組織としていきます。

また、多くの新たな仲間との出会いは、様々な価値観との出会いでもあり、共に活動するなかで新たな価値観を生みだし、それが成長に繋がります。青年会議所だけでしか通用しない技術を習得するのではなく、企業においても活かせる知識を学べる機会を提供していきます。青年会議所という学び舎で、人生において大切な青年期である今、多くの仲間と切磋琢磨し大きく成長することが、青年会議所メンバーである意義の一つでありますし、地域の発展にも繋がると考えます。常に人に対して学びの機会を提供するという事を念頭に置き活動して参りましょう。

より輝く公益法人へ

長井青年会議所は公益社団法人へと移行して5年目となります。移行以来、更に公の利益になる事業を追求し、公益社団法人としての責任を果たしてきました。しかし、移行に携わったメンバーが卒業し減少したことによって公益社団法人である意味をしっかりと認識し、責任感をもっているメンバーに限られているようにも感じます。地域の負託と信頼に応える組織であり続けるために、公益社団法人として透明性と財政体質の健全化を図り、組織運営の基盤となる定款や運営規定を常に意識し学ぶ姿勢を持ちましょう。

特に財政面における年度予算案及び年度末決算書の作成は、これまで以上に透明性をもち確実な作成を実施する必要があります。今年度は財政局を設け、各委員会の諸事業の効果を最大限に引き出すために、費用対効果や適正に予算が使われているかを厳正に審査し指導していきます。

運動をより輝かせる発信力

長井青年会議所はこれまで、紙媒体である「あゆみ」やホームページ等で情報の発信を時代にあった手法を用いて行ってきましたが、情報の受発信の方法は日々進歩しております。近年、インターネットや携帯端末の進化に伴い、世界中の情報をリアルタイムで知ることができるという環境が整っております。より効果の高い受発信ツールを模索し、長井青年会議所の発信力を強化させていかななくてはなりません。私達はとても価値のある運動を行っております。発信力を強化すればより多くの人の目に触れ、長井青年会議所の運動に更に広がりを持たせることができると考えます。人と人との繋がりを発展させるコミュニケーションツールを有効活用し、また、各メディアへも積極的に情報提供を行い、私達の運動と地域の魅力を幅広く発信して参りましょう。

自己を輝かせる出向

青年会議所には、「出向」という機会があり、求めれば世界に広がる無限の可能性があります。各地の青年会議所の枠を越えて活動することによって、より広く多くの人達との交流と新たな価値観との出会いを通して、自身に俯瞰的な視点を与えてくれる貴重な機会です。自分を磨いてくれる環境に身を置き、見識を広げ、更なる成長へ繋げていくことは、個人にとっても長井青年会議所にとっても大きな財産になります。出向先で得た学びや気づきを持ち帰りメンバーへ共有することで、長井青年会議所の発展にも繋がっていきます。私自身も入会以来多くの出向を経験させていただき、昨年は山形ブロック協議会へ役員として出向をさせていただきました。そこでの経験は、とても大きな財産であり、自信にも繋がったと思います。しかし、せっかく出向したにも関わらず仕事の忙しさ等を理由に、委員会活動へ参加が困難になることもあるかもしれませんが、そんな時でもちょっと無理して参加しましょう。その行動が自己の成長になると確信するからです。また、まちづくりへの気概を高め知識を得る機会として、日本青年会議所本会や東北地区協議会、山形ブロック協議会が開催する事業へも積極的に参加していきましょう。まずは一步を踏み出し参加することが重要です。

結びに

私は2006年、27歳の時に長井青年会議所に入会しました。入会当初はJCがどういう団体なのかも全く知らず、地域や社会への関心よりも自分の価値観だけで生きていたように思います。それから

10年近い年月が流れ、今はJC運動に心から共感を覚え、高い志を持った仲間達と共に、愛する故郷を想いながら日々活動しております。私は入会して以来、高い志を持った先輩や仲間と出会い、多くのことを教えてもらい育てていただきました。そのなかでも特に“機会”というものの大切さを学びました。自分に成長の機会を与えていただいたこと、地域や人に機会を創出することの素晴らしさ、そんな機会が青年会議所には無数にあります。機会を得たとき、前向きに捉え行動すれば間違いなくその先には成長があります。まちを創るのは人ですので、まちづくりを推進するうえで人材の育成は切り離すことはできません。全力でJC運動を展開するなかで皆様と共に成長していきたいと思っておりますし、それがこの地域の未来を明るくするものになると信じております。

これまで青年会議所を通して出会った多くの方々から沢山の気づきや学びをいただき、育てていただきましたので、その恩返しのために、そして、歴史と伝統ある長井青年会議所の先輩諸兄の想いと志を継承し「明るい豊かな社会」の実現に向け、率先して行動して参ります。

地域を活気づけ変えられるのは「よそ者、若者、ばか者」とよく言われております。従来の仕組みにとらわれず客観的なものの見方ができる「よそ者」、しがらみなく強いエネルギーでチャレンジできる「若者」、そして信念を持ち、枠組みに収まらず活動に打ち込める「ばか者」の3種の人材がいると言われております。我々青年には、失敗を経験という糧にする時間と体力があります。失敗を恐れることなく、思いっきり全力で40歳までの限られた時間の中で、互いに高め合いながら仲間と共に運動を展開していきましょう。私達の前向きな行動が、多くの地域住民を巻き込み、活気に満ちた輝く長井西置賜を創造する原動力になることでしょう。

この地域の未来を光輝させるために、まずは私達が輝き続けましょう！

Stay Gold！！

公益社団法人 長井青年会議所

2016年度

基本理念

Stay Gold

～輝き続けよう～

基本方針

- ・地域の人々との協働によるまちづくりの実践
- ・未来を担う子ども達の健全育成の実践
- ・会員拡大及び会員の資質向上による組織力の強化
- ・公益組織としてのプライドを持ち責任ある行動
- ・参加したくなる委員会活動の実施

重点事業

- ・人と人との繋がりを実感できる まちづくり事業
- ・地域教育の実践を通して子ども達の生きる力を高める 青少年育成事業
- ・未来を共に明るく照らす仲間を創出する 会員拡大事業
- ・地域の輝くリーダーとして人間的魅力を向上させる 人材育成事業
- ・他団体との積極的な交流
- ・自己を高める積極的な出向と事業への参画

担当副理事長所信

ひとつづくり委員会担当副理事長
大竹 貴之

昨年度、公益社団法人長井青年会議所は、公益社団法人格を取得し間もない状況下の中創立 50 周年という偉大な節目の年を迎えることが出来ました。この感慨深い年月に携われたことは、平に感謝と言う言葉の重さを実感すると同時に、先人から脈々として受け継がれてきた気概、切磋琢磨してきた証を目の当たりにした生涯において忘れることのない機会がございました。そして 51 年目と言う新たなスタートを、公益社団法人長井青年会議所第 51 代理事長井上典嗣君を基とし、行動を共にして行けますことは最も貴重な機会だと捉えると共に、俯瞰的な視点で物事を捉えること、人と人との繋がりへの尊重、行動力が必須となる責任重大な役目だと実感しております。

今日、青少年を取り巻く環境は私達世代が育ってきた環境とは大きく異なり、物質的な豊かさ便利さを感じます。しかし、豊かさ便利さを感じさせる反面、環境の変化が著しく身近な人と人との触れ合い、信頼関係、友情といった時間をかけ醸成しなければならない人間関係の構築が希薄化し、失ってはならない大切な部分が衰退してきているように感じることさえあります。この変化の著しい今日だからこそ、理事長所信に、「親がしていること、発した言葉をこども達が真似していることはよくあること。子は親を写す鏡なのです。」とありますように、私達は大人として基本を振り返り、基礎を構築していくことが要になってくるものと考えます。

最後に、副理事長という大役を与えて下さった井上理事長をはじめとしますメンバーの皆様へ心より感謝申し上げます。井上理事長が掲げる基本理念「Stay Gold～輝き続けよう～」を胸に、担当委員会、委員長の佐藤和之君をはじめとします明るく愉快的な委員会メンバーと共に、大人と未来を担うこども達が共に成長できる事業を考察、展開していくことをお誓いし、青少年健全育成に全力で取り組んでまいります。

皆様今年一年間どうぞ宜しくお願い致します。

担当副理事長所信

まち未来委員会担当副理事長
樋口 和哉

昨年度、私たち長井青年会議所は創立 50 年という大きな節目を迎えることが出来ました。これもひとえに、「明るい豊かな社会」の実現のためにご尽力されてきた先輩諸兄の皆様、そして当会に対し温かいご理解とご協力を与えて頂いた地域の皆様の賜物であります。これからも感謝の気持ちを忘れることなく、地域のリーダーとしての気概と覚悟をもって弛まぬ運動を続けて参ります。

近年、私たちが住み暮らす長井西置賜に限らず全国規模で少子高齢化、人口減少、若者の地域離れや、その他様々な問題を抱えており、今後もさらに深刻になると考えられます。決して他人事と捉えず、まちづくりを通してそれらの諸問題に対する解決の糸口を模索し、ひとりでも多くの方々と輝く地域の活性化につながる事業を実施していく事が必要です。

今年度 8 回目を迎える「みんなで灯そう夢灯」は継続事業として地域に定着しつつある事業になってきており、昨年度は私たちの活動地域である長井市、白鷹町、飯豊町、小国町の一市三町で開催し、多くの方々に夢灯を体感して頂きました。今年度もこの事業の本質や事業を開催した思いを大切に、

「夢灯」という事業が地域や子どもたちのために発展出来るように新たな手法を用いることも考え、多くの子ども達の夢や願いを地域全体で後押し出来るような事業を実施して参ります。

私たちの愛すべき故郷、輝かしい未来は私たちが護り発展させていくのだ、というまちづくりに関わる人々をひとりでも多く創出出来ればこの地域はさらに活気溢れる場所になると私は信じております。

最後に、今年度副理事長という役職を与えて下さいました井上理事長をはじめメンバーの皆様にご礼申し上げます。担当するアイデア豊富な船山委員長を筆頭に委員会メンバーと共に光り輝くまちの未来を創造しながら積極的な行動を心掛け、幸せを実感できるまちづくりに邁進して参りますので一年間どうぞよろしくお願ひいたします。

来創造会議議長所信

未来創造会議議長

齋藤繁喜

昨年度、公益社団法人長井青年会議所は創立50周年の節目を迎えました。51年目は新たな時代への出発点として、井上典嗣理事長のもと、活気に満ち溢れた未来を描き、幸せを実感できるまちの実現に向けて力強く一步を踏み出し、活動してまいります。

長井西置賜にはこのまちをより良く活性化させようとする多くの団体が存在するようになり、長井青年会議所もその一つに数えられるような時代へと変わってきております。5年後・10年後も地域から必要とされる団体として、また公益法人という透明性のある団体として発展するためにもさらなる責任と覚悟をもって行動しなければならないと考えます。

今年度、未来創造会議は「会員拡大」、「人財育成」、「新入会員のサポート」の3本柱を重点として一年間活動を展開して参ります。

青年会議所運動の原点は会員拡大です。会員拡大はLOMの使命であり、メンバー全員が積極的に取り組まなければなりません。しかし、現状は担当者任せの活動になりがちであります。これを改善するため、新たな会員拡大体制を立ち上げ、LOM全体で意識を高めていきたいと思ひます。そして同時に、我々はメンバーのみならず地域の青年を対象として、この地域の次代を担うリーダーとなれるような人財の育成を行っていく必要があります。地域を担うリーダーとは、人を惹きつける魅力、時代の変化に対応する柔軟さ、何事にも挑戦する勇気を兼ね備え、自ら率先して行動する者であると考えます。青年会議所からは、人を巻き込む力、事業の運営方法、指導方法など多くの学びや気付きを得ることが出来ます。特に何事にも挑戦する心を持って困難から逃げない勇気を身に付けて頂きたいと考えます。そして、自身も人を育てられる人間になるよう努力していきましょう。長井青年会議所という名の人間道場で共に磨き合い、高め合い、さらに魅力ある青年を目指して参りましょう。

一年間、どうぞ宜しくお願ひ致します。

専務理事所信

専務理事

梅津壮一郎

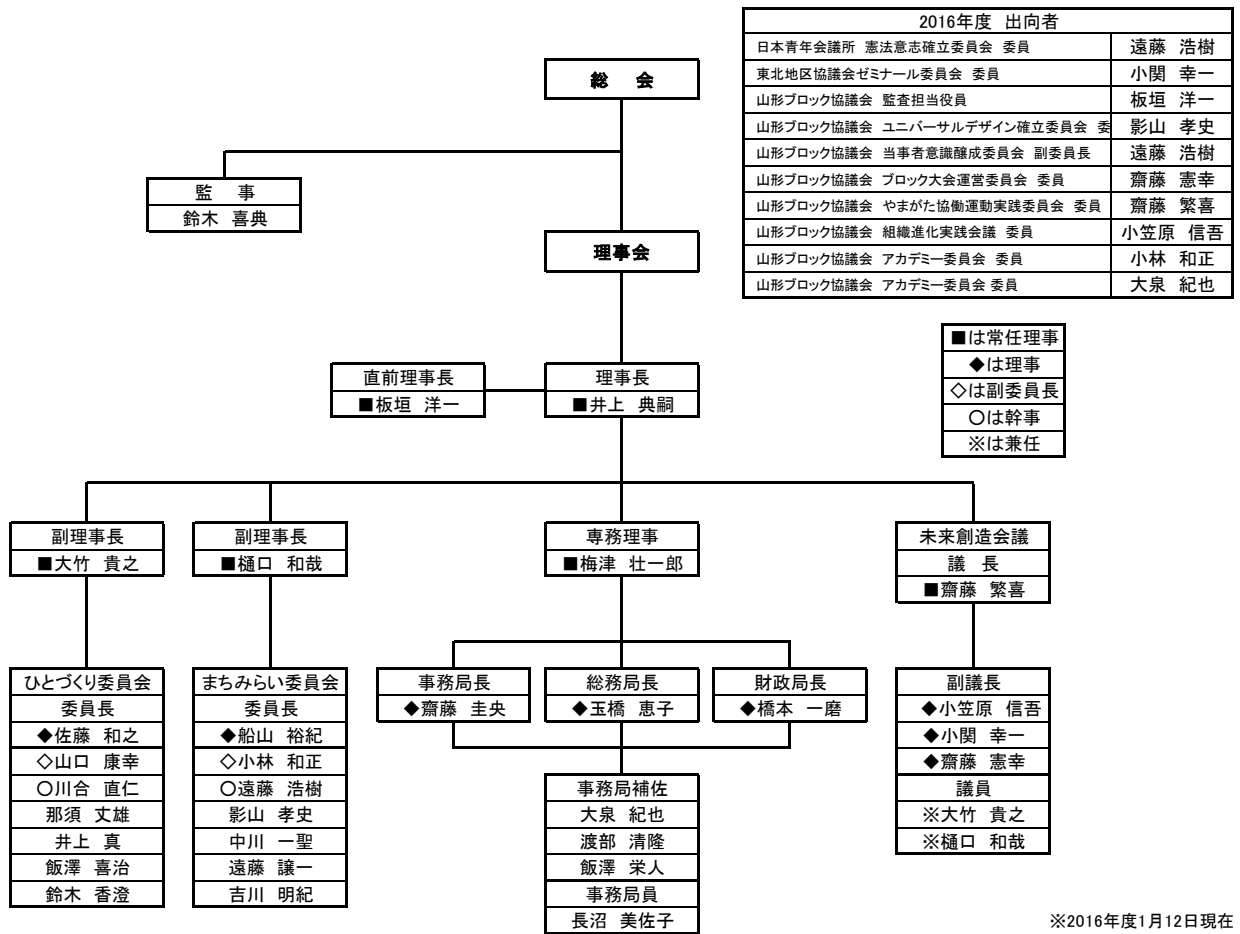
公益社団法人長井青年会議所は、1966年の設立以来、半世紀に渡り日々変化する地域情勢を的確に感じ取りながら、地域に根差した運動を展開してまいりました。私達は、この先輩諸兄から受け継が

れてきた「まちづくり」「ひとづくり」に込める想いを、次の世代にもしっかりと受け継いでいかなければなりません。設立から51年目という新たな一步を踏み出した今年、長井青年会議所がさらに進化・発展していく為にも、時代の流れと共に変わっていく地域の諸問題と真摯に向き合い、愛する故郷の為、「英知と勇気と情熱」を持って活動に取り組んでまいります。

本年度、専務理事の担いを仰せつかり、今まで以上に責任の重大さを実感しております。組織の運営を司る重要な役職ではありますが、今日までの様々な活動を通して得てきた経験や、先輩方から学んできた知識を基に、長井青年会議所の運動がより円滑に行っている様、全力で各委員会活動をサポートしてまいります。まずは、事務局・財政局・総務局の3局の力を合わせ、組織の運営管理・財務管理・情報管理等を適正に行い、さらに信頼度を増した公益法人となるべく責任をもって行動いたします。また、日本青年会議所・東北地区協議会・山形ブロック協議会・他 LOM と連携協力を図り、出向者への支援、各種大会・事業等への参加促進にも力を入れていきたいと思っております。そして、地域の各外部団体との情報交換や事業等にも積極的に参加協力していきたいと思っております。地域内外に我々の運動をさらに力強く発信できるよう、1年間努めてまいります。

最後に、このような大変貴重な機会を与えて下さった井上理事長をはじめ会員の皆様に心より感謝を申し上げます。専務理事として、理事長が掲げる「Stay Gold～輝き続けよう～」という基本理念のもと、地域の為・子ども達の輝かしい未来の為、率先して行動して参ります。今年一年間どうぞよろしくお願いいたします。

公益社団法人 長井青年会議所 2016年度 組織図



※2016年度1月12日現在

公益社団法人 長井青年会議所 2016年度公式スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
公益社団法人 長井青年会議所	常任理事会	日付・開催地 1月7日(木)	日付・開催地 1月28日(木)	日付・開催地 2月25日(木)	日付・開催地 3月31日(木)	日付・開催地 5月26日(木)	日付・開催地 6月30日(木)	日付・開催地 7月28日(木)	日付・開催地 8月25日(木)	日付・開催地 9月29日(木)	日付・開催地 10月27日(木)	日付・開催地 11月24日(木)	
	理事会	12日(火)	4日(木)	3日(木)	7日(木)	2日(木)	7日(木)	4日(木)	1日(木)	6日(木)	4日(金)	1日(木)	
	担当	2015年度事務局	事務局	まちみらい委員会	未来創造会議	まちみらい委員会	事務局	ひとづくり委員会	総務局	総務局	事務局	総務局	まちみらい委員会
	例会・総会	1月通常総会 27日(木)	山形ブロック協議会 会長公式訪問	みんなで防災対応 向上計画	人材育成事業	ふるさとOMOIVARI プロジェクト	ひろくつり委員会	事務局	8月通常総会	総務局	事務局	卒業式	クリスマスパーティー
事業		事務局			ひとづくり委員会		事務局	ひとづくり委員会	総務局	ひとづくり委員会	ひとづくり委員会		
		新着週交教会 14日(木)			第25回JC杯中学 野球大会(春季)	みんなで灯ろう夢灯 行	ブロック大会 上山大会 30日(土)		広報誌「あゆみ」発 行	第25回JC杯中学 野球大会(秋季)	講演会		
										ひとづくり委員会			
										ながい寺子屋			
フォロワーアップ・その他					事務局			事務局	事務局	事務局			
					事務局					事務局			
					事務局					事務局			
					事務局					事務局			
山形ブロック 協議会	役員会議	14日(木) 山辺	11日(木) 長井	10日(木) 村山	7日(木) 庄内中央	9日(木) 東根			8日(木) 高島	11日(火) 河北	10日(木) 鶴岡		
	会員会議所会議	30日(土) 新庄	27日(土) 山形	27日(日) 東京	24日(日) 米沢	26日(日) 寒河江			24日(土) 南陽	22日(土) 酒田	26日(土) 新庄		
	主要事業	新着交教会 30日(土) 新庄	ブロック会 エリア公式訪問			ふるさとOMOIVARI プロジェクト						ブロック交義式 26日(土) 新庄	
	周年事業				河北	米沢			酒田 30日(金)	鶴岡 21日(金)			
	アカデミー委員会					村山			上山 25日(日)	東根 23日(日)			
	正副会議	4日(月) 盛岡 29日(金) 仙台	26日(金) 仙台	28日(月) 石巻	29日(金) 山形	27日(金) 大館	27日(月) 五所川原	22日(金) 原町		23日(金) 酒田	28日(金) 郡山	25日(金) 水沢	
	役員会	18日(月) 盛岡	5日(金) 仙台	18日(金) とめ	8日(金) 八戸	13日(金) 北上	10日(金) 滝江	8日(金) 泉		2日(金) とめ	14日(金) 湯沢	11日(金) 新庄	
	会員会議所会議	23日(土) 京都											1日(木) 盛岡 2日(金) 盛岡
	ゼミナール委員会		6日(土) 開校式	第1講座 12日(土)~13日(日)	第2講座 16日(土)~17日(日)	第3講座 14日(土)~15日(日)	第4講座 18日(土)~19日(日)	第5講座 30日(土)~31日(日)		閉校式			
	主要事業									東北青年フォーラム			
公益社団法人 日本青年会議所	総会	23日(土) 京都		26日(土) 東京									
	理事会	22日(金) 京都	20日(土)	12日(土) 東京	23日(土)	25日(土)	15日(金)		17日(土)	7日(金) 広島	19日(土)	17日(土)	
	ブロック会長会議	22日(金) 京都	20日(土)	12日(土)	23日(土)	21日(土)	25日(土)	15日(金)	17日(土)	7日(金) 広島	19日(土)	17日(土)	
	主要事業	京都交誼(京都) 21日(木)~24日(日)						サマーコンファレン ス(横浜) 16日(土)~17日(日)			全国大会(広島) 6日(木)~9日(日)		
JCI	JCI常任理事会/ 理事会 (JCI JEW/JBM)					アジア・太平洋 地域会議(高雄) 6月2日(木)~5日(日)				JCI世界会議(ケベック) 10月30日(日)~ 11月3日(金)			

2016 年度 事業計画

ひとづくり委員会 2016年度事業計画書

●担当副理事長 大竹 貴之 ●委員長 佐藤 和之

1. 基本方針

次世代を担う子ども達が、「地域のたから」として地域社会に生まれ心身ともに健康でたくましく成長していくことは誰もが望む願いであり、それを実現する環境を整えることは我々大人の責務だと考えます。

今日子ども達を取り巻く環境は、経済的発展と技術の進歩により物質的な豊かさや便利さを手に入れた反面、様々な選択肢のある中で自らの夢を描き、自らを律し、努力する力を養う基盤が揺らいでいます。また、急激な少子化の進行や核家族の増加に伴い、家庭や地域のコミュニティの希薄化が進んでいます。特に家庭では、食べ物が簡単に手に入る飽食の時代も相まって、家族が揃って食事をする機会が減少し、食を通して学ぶことができるせつかくの機会が失われつつあります。

このような状況の中で、長井青年会議所は体験活動、講演会、スポーツを通して子ども達の健全な育成を目的として事業を推進してまいります。まず1つ目は「食育」をテーマにした事業です。食育は食の大切さを学び、自らの食と向き合い行動に移すことで、感謝の心や思いやりの心、心身の健康などを醸成し、生きる力を身につける取り組みです。我々長井青年会議所メンバーも共に考え行動に移すとともに、子ども達には「ながい寺子屋」という体験の場を通して、大人には「講演会」という気づきの場を通して、親と子が共に成長できる場を提供し、未来に羽ばたく子ども達の育成に繋がります。2つ目は「スポーツ」をテーマにした事業です。昨年まで24年間継続開催してきたJC杯中学野球大会も時代の移り変わりにより様々な課題が見えてきました。地域、学校と連携して、未来を担う子ども達のためにどのような開催が望ましいのか十分に検討を重ね、事業を推進してまいります。

基本理念「Stay Gold」のもと、長井青年会議所が、地域が、それを担う子ども達が、未来永劫輝き続けられるよう一致団結し邁進してまいりますので皆様1年間どうぞよろしくお願い致します。

2. 事業目的

1. 未来を担う子ども達の生きる力の醸成を目的とする。
2. スポーツを推進し、子ども達の健康でたくましい快活な活動を目的とする。

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時	予算	主務
ながい寺子屋	食について考え、学び、体験することで生きるための力を醸成する事業	7月下旬 並びに 10月上旬予定	¥288,000	佐藤 (和之)
「食育」をテーマにした講演会	親世代を対象に食の大切さを学び、食への関心を向上させることで子ども達の生活習慣が改善することを目的とする事業	11月予定	¥407,000	佐藤 (和之)
第25回JC杯中学野球大会（春季）	中学生の自己分析力と課題解決力の向上及び、社会性を身に付けていくことを目的とした事業	5月予定	¥85,000	山口
第25回JC杯中学野球大会（秋季）	実戦経験の少ない子ども達を中心とし、気づきと課題を見出し成長する事を目的とした事業	10月予定	¥43,000	川合
納涼パーティー	OBの皆様と会員の親睦を深める事業	8月	なし	井上

まちみらい委員会 2016年度事業計画書

●担当副理事長 樋口 和哉 ●委 員 長 船山 裕紀

1. 基本方針

全国規模で問題となっている人口減少・少子高齢化・核家族化の影響から世帯数のみが増え、古くからある風習や行事の統合・効率化を余儀なくされた地域コミュニティは疲弊し希薄化の一途を辿っています。効率化によって地域の接点は減少し、担い手となるべき若年層の故郷への帰属意識は薄れ、地方に暮らす価値を見出せない若者は故郷を離れてしまいます。しかし、人は助け合い支え合って暮らしてきました。私たちが活動する長井・西置賜は古来縄文時代より人々が集い暮らし息づいてきた歴史があり、先人たちが愛し守り続けた風土、そして文化があります。私たちは首都圏や地方都市のような効率化を目指すのではなく、このまちの未来と向き合い語り合うことで相互理解を深め郷土愛をもってまちづくりに取り組んで参ります。

2009年に始まった地域活性化事業「みんなで灯そう夢灯」は、学校・行政・他団体など多くの地域住民との対話・協働のもと将来を担う子ども達の夢や願いを灯すことで、このまちに対する想いや感動を共有し、心豊かで明るいまちづくりを実践し継続されてきました。対話や協働によって地域全体に思いやりの心が生まれ、思いやりを持ってお互いを応援し合い故郷を想う心を育むことがまちづくりの礎となると考えます。今年で8年目を迎える同事業ではこれまでの想いを継承し時代にあった事業展開を行います。まちづくりにたずさわる団体や個人に協力を募り交流を図りながら、地域全体として夢実現に向け輝き続け、希望溢れる幸せを実感できるまちを目指します。

また、昨今これまでに類を見ない大雨などの影響から災害が各地で起こっています。日頃から災害に備え万が一の際には率先し思いやりをもって行動出来るよう防災対応力の向上にも取り組んで参ります。そのためにも対話・協働の機会を多く作り、まちのみらいを地域全体で考えていけるよう全力で取り組んで参ります。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

2. 事業目的

1. 助け合い支え合う地域づくりを目的とする。

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時	予算	主務
地域活性化事業 みんなで灯そう夢灯	多くの地域住民との協働のもと子供達の夢や願いを描いたランタンを灯すとともに、地域全体で実現に向けて取り組む地域活性化事業	夢灯 6月 夢授業 6月・7月	¥1,494,000	全員
みんなで防災対応力向上例会	災害時の連絡体制を疑似体験する	3月	¥6,000	影山
長井駅周辺整備事業	長井駅の花壇の花植えや駅周辺の整備を行う事業	5月	¥11,000	吉川
クリスマスパーティー	メンバーと家族が親睦を深め、よりJC活動や個人が輝ける事業を開催する	12月	なし	中川
公開討論会	有権者が投票する際の判断基準となる候補者の政策やビジョンをお聞きする公開討論会の開催	適時	¥105,000	遠藤

未来創造会議 2016年度事業計画書

●議長 齋藤 繁喜 ●副議長 小笠原 信吾 ●副議長 小関 幸一 ●副議長 齋藤 憲幸

1. 基本方針

我々は、人々の意識を変革する運動体として、多くの人々の心を動かせる魅力と人間力を持つ存在でなくてはなりません。本年、我々は51年目の一步を踏み出し、これまで以上に市民、町民を巻き込んだ運動へと大きく発展していくために、地域を担うリーダーとなる人財の発掘と育成に注力する必要があります。

未来創造会議は、「会員拡大」、「人財育成」、「新入会員のサポート」を重点として一年間活動を展開して参ります。ここ長井西置賜に長井JCが存在し続けること、それが地域の明るい未来の創造に繋がると考えています。だからこそ、会員の拡大を続けることが、まちづくり運動の原点という強い信念を持ってメンバー一人ひとりが拡大担当として積極的に取り組む事により、最大のJC運動に繋がると強く信じております。会員拡大の本質は、組織存続のためだけではなく青年会議所運動を通して、地域のリーダーとなり社会にインパクトを与えられる人財を育成し、一人でも多く輩出することが青年会議所としての責務であると考えます。

今年度の会員拡大は、継続可能な仕組みやルールを構築し、定期的に拡大進捗状況の確認や目標・計画を全メンバーで共有し、拡大に対する意識を強化して参ります。また、会員拡大のみを目的とした狭義な活動ではなく、あらゆる世代を通じて青年会議所への良き理解者と青年会議所運動に対する協力者や参加者の拡大にも繋げていくことが重要であると考えます。地域の青年たちが、長井青年会議所の活動に興味を持ち、例会や事業へ気軽にオブザーブ参加できるようJCの魅力を発信して参ります。

入会3年未満のメンバーの方に対しては、例会や事業への参加促進や良き相談役としてサポートを行う制度を設けていきます。また、青年会議所の一員としての誇りと自信と使命感を高めるために、未来創造会議が先頭に立って基礎的な知識の習得をはじめ、JAYCEEとして活躍できるよう責任を持って指導して参ります。

2. 事業目的

1. 長井JCの輝く未来を担う仲間の創出を目的とする。
2. 会員の育成と意識改革、自己研鑽を目的とする。
3. 地域を担う青年と共に学び、活力あるまちづくりへ繋げる事を目的とする。

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時	予算	主務
会員拡大運動	新たな仲間を長井JCに迎えるための会員拡大の先導・主務・実行。	通年	¥30,000	小笠原信吾
人財育成事業	会員及び地域の青年を対象とした資質向上を目的とした人財育成事業の実施。	4月	¥240,000	小関幸一
新入会員の指導・育成	基礎的な知識をはじめ、JAYCEEとして必要な指導と育成を行う。	適時	¥10,000	齋藤憲幸

事務局 2016 年度事業計画書

●専務理事 梅津 壮一郎 ●事務局長 齋藤 圭央

1. 基本方針

長井青年会議所は「明るい豊かな社会」の実現に向け運動を展開する団体であり、これまで 50 年の長きに亘りその運動を展開してまいりました。その運動を展開するのは理事長をはじめとした理事メンバーであり、各事業を立案、実行する各委員会の委員長、メンバーです。その運動が円滑なものになるよう、LOM メンバーが安心して JC 運動を遂行できるようにしていく事こそが事務局の役割であると考えます。時代に即した形が求められますが、活動エリアである 1 市 3 町はもとより、他団体や山形ブロック協議会、日本 JC などと情報を共有し、活動の幅や見識の幅を深め、継続事業や新規事業、規模に関わらず、真意を理解し各事業をサポートしてまいります。

基本となる総会及び、例会の運営、常任理事会並びに理事会の運営を適切に行うことはもちろんのこと、各種大会やその他対外行事の取りまとめにも精力的に取り組んでまいります。次に、置賜 4JC 合同例会を主催するにあたり、会員相互の交流と JAYCEE としてのスキル向上の為開催されてきたその趣旨と想いをこの長井の地で形にし、メンバー同士の繋がりをより強固なものにしていきます。また、新春賀詞交歓会や OMOIYARI プロジェクトといった対外的な要素も含まれる事業もあるため、常に客観的な見方を意識し事業を行ってまいります。これらの事業を行うにあたり、従来の手法や考え方に囚われることなく、効果的で効率的なやり方を模索し、取り入れていく事も必要になるでしょう。歴史と伝統に裏打ちされた 50 年の歩みと、新たな 1 歩を歩みだす今年の運動が有意義なものになるよう努めてまいります。

『水は方円の器に随い、人は善悪の友に因る』という言葉にあるように、まずは自らが長井青年会議所を形作る器であることを自覚し、各委員会が事業目的を成し遂げ、地域社会及び各メンバーに大きな成果をもたらすことが出来るようサポートすることで、地域に必要とされる団体になると信じています。

2. 事業目的

1. LOM内の円滑な組織運営を行う
2. JC 活動の情報発信と活動に対する意識向上を図る
3. 環境整備、花育を通し愛郷心を育む

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時	予算	主務
新春賀詞交歓会	OB及び諸団体の方々に参加いただきJC活動の情報発信と活動に対する意識向上を図る事業	1 月	¥25,000	齋藤
ながいOMOIYARIプロジェクト	ゴミ拾い・花植えを通し、郷土へのOMOIYARIの気持ちと命の大切さを育む事業	6 月	¥50,000	飯澤
山形ブロック協議会会長公式訪問例会	1 年間のブロック協議会の方向性と目的意識を共有する事業	2 月	なし	梅津
置賜4JC 合同例会	置賜4JC 合同例会の実施	10 月	¥80,000	齋藤

総務局 2016年度事業計画書

●専務理事 梅津 壮一郎 ●総務局長 玉橋 恵子

1. 基本方針

長井青年会議所は昭和41年の設立以来、「明るい豊かな社会」の実現を目指して様々な事業を展開してまいりました。今年が創立51年目の新たなスタートの年であり、地域に対してより効果的な活動を行っていくためには、充実した委員会活動とメンバーが一丸となって事業に取り組める組織運営が求められます。

組織運営を円滑に行うためには、基盤となる総務が安定して機能し、総会や諸会議の運営を適切に行うとともに、各委員会が行う事業を掌握し支えることで委員会や各メンバーの能力を最大限に発揮できると考えます。まずは、最高意思決定機関である総会において出席率の向上を図り、その意義と重要性を再認識いただくよう努めます。加えて、正確かつ迅速な議事録作成、次年度理事長所信発表例会や卒業式の適切な運営に取り組みます。また、専務理事を補佐し、事務局・財政局と協力しながら、LOMの対内活動、対外活動を円滑に進め、情報共有とメンバーの積極的な参加を促し、組織の結束力を高めます。次に、青年会議所活動の情報発信に努め、活動の周知を図り、各種事業の参画や拡大運動を推進します。例年実施している対外事業の参加者や協力者、活動にご理解をいただいている地域の方は年々増え続けており、ホームページやSNS、広報誌「あゆみ」を活用し、幅広く発信することで、青年会議所活動への地域の理解を深めます。

長井青年会議所の歴史の中で築き上げられた組織力から発信される活動が、地域の信頼と実績を生み出し、多くの人々のこころを動かせると感じます。2016年度基本理念『Stay Gold ～輝き続けよう～』のもとに展開される活動が、地域の未来に「夢」を与え、個人の喜びや幸せに繋がるよう、総務局は委員会活動の側面的支援を行っていきます。そして、長井青年会議所が地域に必要とされ続け、更によりよい組織に進化できるよう、持続的な運営と組織力強化を心掛けてまいります。一年間よろしくお願いいたします。

2. 事業目的

1. 組織の円滑な運営を図る。
2. 青年会議所活動を幅広く発信し、活動に対する地域の人々の理解を深める。

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時	予算	主務
次年度理事長候補者所信発表例会	次年度理事長候補者による所信発表例会の実施	9月	¥5,000	大泉
卒業式	卒業式の実施	11月	¥35,000	渡部
ホームページ運営	ホームページの運営・管理	通年	なし	玉橋
広報誌「あゆみ」発行	広報誌「あゆみ」の発行	9月	¥160,000	玉橋

財政局 2016年度事業計画書

●専務理事 梅津 壮一郎 ●財政局長 橋本 一磨

1. 基本方針

財務管理は、組織が健全な活動を続けていくため必要不可欠であり、非常に重要な要素であります。本年度の財政局設置は、その重要な役割と責務を担っていると考えます。50年間継承されてきた長井青年会議所を将来にわたり地域に必要不可欠な団体として、進化させて永続できるように財政体質の健全化を図り、組織の基盤強化に繋がります。

まず初めに、会員から預かった会費を厳正に管理することをお約束致します。そのためには、透明性の高い年度予算案及び年度末決算書を作成し信用力のある財務体質を確立することが必要です。補正予算の編成、年会費の徴収状況、各事業終了後の収支状況をスピーディに報告かつオープン化できるようにしなければなりません。そして、本年度の重点事業でもある会員拡大による予算確保と固定費の削減にも力を注いで参ります。半数以上のメンバーは、5年以内に40歳を迎え卒業になるため、会費の収入は減り、予算面において厳しい組織運営が予想されます。また、各委員会が効率的な運営ができるように、財政面での疑問や要望に対して即時性を持った対応にてサポートを行うことと致します。各事業が最大の効用を発揮できるように、費用対効果の点にも注視し、事業予算を細部にわたり適正に精査し、財政面より各委員会を支援し全事業の運営力の向上に貢献致します。特に、長井青年会議所のメイン事業である「みんなで灯そう夢灯」、「ながい寺子屋」については、各委員会と連絡を密にし、予算管理を注視していきます。

的確かつ適正な局の運営を行うことによりメンバーの成長となり、「明るい豊かな社会」の創造につながるものと確信します。

確かな公益法人業務運営、適正な公益目的事業の実施、適正な会計処理を通じて、地域から期待と信頼される長井青年会議所を実現すると同時に、「地域の未来を光輝かせるため」各事業の財務を力強く後押しして参ります。1年間どうぞよろしくお願い致します。

2. 事業目的

1. 公益法人として適正な財政運営を行い、将来にわたり永続できるように財政体質の健全化を図ることを目的とする。

3. 事業計画

事業名	事業内容	日時	予算	主務
2016年度予算の編成	2016年度の予算の編成を行う	2015年11月	なし	橋本
年会費の徴収	会員の年会費の徴収	随時	なし	橋本
補正予算の編成	2016年度の補正予算の編成を行う	随時	なし	橋本
各委員会予算の精査・監査	各委員会予算の精査・監査を行う	随時	なし	橋本

2016 年度 収支予算書

公益社団法人 長井青年会議所
2016年度正味財産増減計算書 当初予算(案)
2016年1月1日から2016年12月31日まで

(単位:円)

科 目	2016年度 当初予算	2015年度 11月補正予算	増減	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
特定資産運用益	0	0	0	
特定資産受取利息	0	0	0	
受取入会金	30,000	20,000	10,000	
受取入会金	30,000	20,000	10,000	¥10,000×3名(新規会員数)
受取会費	3,005,000	2,982,500	22,500	
正会員会費	2,925,000	2,902,500	22,500	¥90,000×31名(年初会員数)+年度内入会者分¥45,000×3名(月割による)
特別会員会費	40,000	40,000	0	¥20,000×2名(卒業生より)
賛助会員会費	40,000	40,000	0	¥20,000×2名(長井市長、長井商工会議所会頭より)
その他会費	0	0	0	
事業収益	195,000	151,000	44,000	
登録料収益	195,000	71,000	124,000	人財育成事業登録料¥150,000: ¥3,000×50枚 JC杯中学野球大会(春季)登録料¥45,000: ¥5,000×9枚
広告料収益	0	0	0	
販売収益	0	0	0	
雑収益	0	80,000	△ 80,000	
受取補助金等	948,000	1,610,000	△ 662,000	
地方公共団体補助金	0	0	0	
民間補助金	328,000	1,500,000	△ 1,172,000	ながい寺子屋 補助金: ¥248,000 講演会 補助金: ¥80,000
地方公共団体助成金	620,000	70,000	550,000	夢灯 補助金: ¥600,000 フラワーボランティア謝礼金: ¥20,000
民間助成金	0	40,000	△ 40,000	
受取負担金	60,000	0	60,000	
受取負担金	60,000	0	60,000	4JC合同例会登録料 ¥60,000
受取寄付金	656,000	1,124,000	△ 468,000	
受取寄付金	656,000	1,124,000	△ 468,000	夢灯企業協賛金¥651,000: ¥3,000×217口、JCカード還元金¥5,000
受取寄付金振替額	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
受取利息収益	0	0	0	
その他の雑収益	0	0	0	
経常収益計	4,894,000	5,887,500	△ 993,500	
(2) 経常費用				
事業費	3,972,288	5,139,440	△ 1,167,154	
地域開発事業	2,101,380	3,375,407	△ 1,274,027	
青少年育成事業	1,018,380	500,533	517,847	
公益事業共通	278,116	272,129	5,987	
内部例会及び会員交流系事業	213,350	396,461	△ 183,111	
広報系事業	253,030	262,604	△ 9,574	
その他組織運営に関する事業	108,030	332,306	△ 224,276	
収益事業等共通	0	0	0	
科 目	2016年度 当初予算	2015年度 11月補正予算	増 減	備考
管理費	921,714	818,060	103,654	
役員報酬	0	0	0	
給料手当	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
福利厚生費	50,000	18,464	31,536	香典・吊電・花代: ¥50,000
会議費	14,240	33,680	△ 19,440	会場使用料: ¥14,240
旅費交通費	0	0	0	
通信運搬費	9,000	9,000	0	送料、切手代、ゆうメール: ¥9,000
減価償却費	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	
消耗品費	29,892	22,464	7,428	スローガン看板: ¥18,000、会員ネームプレート・バッジ: ¥3,964×3名
修繕費	0	0	0	
印刷製本費	120,000	118,800	1,200	手帳: ¥120,000
燃料費	0	0	0	
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	20,000	20,000	0	JCルームの賃借料 ¥240,000: ¥20,000×12ヶ月
保険料	8,680	8,680	0	ボランティア活動保険: ¥280×31名(年初会員数)
委託費	134,430	134,430	0	長井商工会議所事務員 ¥432,000: 1ヶ月 ¥36,000
租税公課	1,000	1,000	0	ホームページ作成・更新、ホスティング料等 ¥96,600 合計: ¥528,600
				膳本代: ¥1,000

支払負担金	359,787	370,538	△ 10,751	JCI負担金¥30,328: ¥892×31名(年初会員数)+¥892×3名(新規会員数) 日本JC負担金¥192,500: ¥30,000(基本額)+¥5,000×31名(年初会員数)+¥2,500×3名(新規会員数) 地区協議会負担金¥61,500: ¥5,000(基本金)+¥1,500×31名(年初会員数)+¥10,000×1名(ゼミナール委員出向者数) ブロック協議会負担金¥175,000: ¥10,000(基本金)+¥5,000×31名(年初会員数)+¥5,000×2名(アカデミー委員出向者数) 国際協力資金¥56,575: ¥1,825×31名(年初会員数) 日本JC出向者負担金¥20,000: ¥20,000(基本金)×1名 We Believe購読料¥102,000: ¥3,000×31名(年初会員数)+¥3,000×3名(新規会員数) JC支払負担金総計: ¥637,903
支払寄付金	0	0	0	
支払利息	0	0	0	
交際費	85,000	68,000	17,000	周年会議所お祝い: ¥40,000、関係団体年会費、電報他: ¥45,000
雑費	89,685	13,004	76,681	予備費(振込手数料他)
経常費用計	4,894,000	5,957,500	△ 1,063,500	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	△ 70,000	70,000	
基本財産評価損益等	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
投資有価証券評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	0	△ 70,000	70,000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	△ 70,000	70,000	
一般正味財産期首残高	2,506,125	2,576,125	△ 70,000	
一般正味財産期末残高	2,506,125	2,506,125	0	
II 指定正味財産増減の部				
受取補助金等	0	0	0	
.....	0	0	0	
一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,506,125	2,506,125	0	

※前年度予算額は、11月理事会で承認された補正予算額である。